

令和 8 年第 3 回

区づくり推進横浜市会議員会議次第

日時 令和 8 年 9 月 3 日 (木)
9 時 30 分から
会場 鶴見区総合庁舎 6 階
8・9 号会議室

1 開 会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 題

- (1) 令和 7 年度 鶴見区個性ある区づくり推進費決算について
- (2) 令和 8 年度 鶴見区個性ある区づくり推進費自主企画事業費の執行状況について
- (3) 令和 9 年度 鶴見区予算編成の考え方について (案)

5 その他

(仮称) 豊岡町複合施設再編整備事業について

6 閉 会

令和 8 年第 3 回

区づくり推進横浜市会議員会議

会 議 資 料



令和 8 年 9 月 3 日

目 次

議題 1

令和 7 年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算について
..... P 1

議題 2

令和 8 年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
自主企画事業費の執行状況について
..... P 53

議題 3

令和 9 年度 鶴見区予算編成の考え方について（案）
..... P 104

令和 8 年 第 3 回

区づくり推進横浜市会議員会議

議 題 1

令和7年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
決算について

令和7年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算	3
1 地域力の強化	
1 防災活動推進事業【重点】	4
2 放置自転車対策事業	10
3 交通安全推進事業	11
4 鶴見区防犯活動支援事業	12
5 自治会町内会振興事業	14
6 地域のちから応援事業	15
7 鶴見・あいねっと推進事業	16
8 「広げよう見守りの輪」推進事業	17
2 区内経済・活力の向上	
9 鶴見区魅力づくり事業	18
10 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	19
11 商店街魅力発信事業	22
12 鶴見区民まつり支援事業	23
13 鶴見区制100周年記念事業【新規】	24
14 鶴見区環境行動推進事業【重点】	25
15 地域文化・区民活動推進事業	27
16 区民スポーツ振興事業	29
3 子どもから大人まで安心・元気に	
17 ヘルスアッププラン【重点】	30
18 感染症対策事業	33
19 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	34
20 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業	36
21 つるみDE子育て応援事業	38
22 つるみの未来を育てる保育所事業【重点】	40
23 鶴見区虐待予防事業	42
24 生活衛生サポート事業	44
25 青少年健全育成事業	45
26 つるみクリーンタウン事業	47
施策実現に向けた行政運営	
27 鶴見区広報・広聴事業	49
28 鶴見区人材育成推進事業	50
29 区役所サービス向上事業	51
鶴見区に関連する主な局事業	52

令和7年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算

(単位：千円)

区 分	予 算	決 算	差 引
個性ある区づくり推進費 計	985,227	979,577	5,650
自主企画事業費 区が独自に企画し、区が自ら執行する事業に係る経費	109,456	104,722	4,734
施策1 地域力の強化 (災害に強いまちづくり、地域の力やつながりを育むまちづくり)	34,790	33,270	1,520
施策2 区内経済・活力の向上 (多文化共生のまちづくり、鶴見の魅力を活かしたまちづくり)	34,021	32,573	1,448
施策3 子どもから大人まで 安心・元気に (福祉のまちづくり)	22,988	21,351	1,637
施策実現に向けた行政運営	17,657	17,527	130
一般管理費	875,771	874,854	917
統合事務費 区の事務・運営を行うために必要な経費	35,525	35,255	270
統合事業費 各区で共通している事業で区の裁量が少ない事業に係る経費	19,150	18,505	645
区庁舎・区民利用施設管理費 区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費 (補正予算 11,656千円を含む)	821,096	821,095	1

自主企画事業の概要

施策1 地域力の強化

事業番号 1 防災活動推進事業【重点】	決 算 額 予算 (15,149,000 円) 決算 (14,880,908 円) 差引 (268,092 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略8 災害に強い安全・安心な都市づくり 政策番号 35 地域で支える防災まちづくり
地震、風水害及び都市災害等に備え、地域における自助・共助の取組推進や、地域防災拠点及び区本部機能の強化・維持について、関係機関等と連携を図りながら、地域防災力の向上を図ります。 1 自助・共助推進事業 地域の防災イベント・研修会等の機会を捉え、4,323 人へ防災啓発を実施したほか、地域における共助のための自主的な取組に対して補助金を交付しました。 (1) 防災講座による啓発活動 自治会町内会や学校、関係機関等と連携し、様々な区民の方に在宅避難リーフレット等を活用しながら防災講座を実施するとともに、広報よこはまの特集ページを通じて在宅避難の啓発を行いました。(在宅避難リーフレット配布数：3,667 冊、浸水ハザードマップ配布数：2,958 冊、土砂災害ハザードマップ配布数：1,641 冊、広報よこはま 7 月号・1 月号の合計配布数：240,106 部) ア 出前防災講座 自治会町内会館や防災訓練会場等において、地区ごとの災害リスクや、個人・地域が行える被害軽減に向けた取組等に関する出前講座を行いました(24 回実施、2,187 人参加)。 イ 小学校高学年向け防災講座(つるみっこ防災塾) 若年層の防災意識の向上のため、わかりやすい動画の活用やまち歩きなどを行いながら、小学校の授業として防災講座を行います(7 回実施、946 人参加)。 広報よこはま (令和8年1月特集) 小学生高学年向け防災講座	

ウ 中学生への防災講座【拡充】

若年層の防災意識の向上と防災の担い手育成のため、中学校の授業として防災講座を行いました（8回実施、1,640人参加）。



中学生への防災講座（備蓄庫見学）

エ 子育て世帯への防災啓発【拡充】

両親教室に参加した妊婦に「親子のための防災ハンドブック」を、こんにちは赤ちゃん訪問事業で生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭に訪問する際に「つるみ生活・防災マップ」等を配布し、啓発を行ったほか、保育園での防災講座を実施しました。（保育園での防災講座：2回実施、57人参加）



保育園での防災講座（消防署と連携）

オ 外国人向け防災啓発

国際交流ラウンジと連携しながら、多言語対応のつるみ生活・防災マップなどを活用し、外国人向けの防災講座を行いました。

【関連する自主企画事業】

<多文化のまち・つるみ推進事業【重点】>

3 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

(2) 各種教室の実施

オ 防災啓発活動の実施

外国人を対象とした防災講座等の啓発活動の実施。

実施：2回 参加者：延50人



外国人向け防災講座

<鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業>

2 障害理解の推進

地域のイベントへの参加や地域防災拠点訓練等での啓発、障害者週間に合わせたキャンペーン等を行い、区民の障害理解の促進を図ります。

(2) 地域防災拠点訓練等での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練でのミニ講座の実施や障害理解啓発動画の活用を通じて、必要な配慮に関する啓発を行いました。

ミニ講座の実施：2回（9月7日、11月16日）

障害啓発動画チラシの配布（18拠点）



障害啓発ミニ講座



障害理解啓発動画

<生活衛生サポート事業>

3 人と動物の共生推進事業

(1) 犬猫の適正飼育および災害時のペット対策の啓発

イ 災害時のペット対策の啓発

(ア) 「鶴見区災害時のペット対策ネットワーク」の立ち上げと活動支援

実施：6月28日（土）（立ち上げ）、1月31日（土）（活動報告会）

(イ) 飼い主向けペット防災セミナー

実施：10月12日（日）、20人

ウ 地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発

回数：17回、1,167人



「鶴見区災害時ペット対策ネットワーク」発足時の様子



地域防災拠点訓練における啓発

(2) 「まるごとまちごとハザードマップ」における啓発活動

地域ごとの浸水リスクや避難場所をひと目で認識できるよう、電柱等に掲示した「まるごとまちごとハザードマップ」の管理・更新を行いました。

(3) 地域防災拠点の運営力強化

地域防災の要である地域防災拠点について、資機材の点検・修繕を行うとともに、拠点の開設運営訓練を支援します。また、拠点を担当する責任職（防災参与）等の研修を行いました。

ア 地域防災拠点参与研修：4月

イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月

ウ 全地域防災拠点での開設運営訓練：8～2月（31拠点、4,819人）

(4) 共助のための防災活動支援事業

地域防災力向上を目的として、共助のための自主的な活動に対し、補助金による支援を行いました。（20団体）

(5) 鶴見川防災対策事業

鶴見区水防協議会の資機材購入支援や、つるみ臨海フェスティバルでの風水害の防災啓発や、鶴見区水防協議会における鶴見川の防災機能整備促進・強化に向けた国への要望書を提出しました。

(6) つるみ生活・防災マップ

つるみ生活・防災マップ及びやさしい日本語版生活・防災マップについて、更新を行いました。転入された方等への区役所窓口や公共施設等での配布、区ホームページへの掲載を行いました。（つるみ生活・防災マップ：10,232冊配布、やさしい日本語版つるみ生活・防災マップ：1,571冊配布）

2 区本部機能等強化事業

実災害に対応するための区本部機能の強化を図ります。

(1) 災害対応力及び区本部機能の強化

ア 災害対策本部の開設運営訓練等の実施

職員防災研修：10月

区本部訓練：9、1月

イ 災害対応に必要な区本部用資機材の購入

(2) 補充的避難所の機能強化【拡充】

補充的避難所の開設運営訓練・情報受伝達訓練を県立鶴見支援学校、市立東高校、横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校で行いました。横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校で行った訓練には、地域の方々14人が参加しました。

3 災害時医療体制推進事業

迅速かつ適切な応急対応措置を講じるため、平時から関係機関・団体の連携・協力体制を構築しました。

(1) 区内医療機関等との通信訓練

区役所（医療調整班本部）と区内医療機関、市医療局との間で、MC A無線及び地域 BWA による通信訓練を実施しました。

実 施：毎月（奇数月：区→区内医療機関等、偶数月：区→市医療局）

※MC A無線：運輸・物流業務、バス運行業務、タクシー等で広く利用されている資格不要のデジタル簡易無線。

※地域 BWA（広帯域移動無線システム Broadband Wireless Access）：

横浜市専用の周波数帯であり、他の通信状態の影響を受けず、通信の輻輳を受けにくいため、災害時にも安定して通信ができる

(2) 鶴見区災害医療連絡会議

行政と関係機関・団体の情報共有や意見交換を図りました。

開 催：2回（第1回：8月18日、第2回：3月4日）

構成員：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、済生会横浜市東部病院、汐田総合病院、佐々木病院、平和病院、鶴見大学、鶴見警察署、鶴見消防署、鶴見区社会福祉協議会、鶴見区役所

(3) 鶴見区災害医療訓練

鶴見区災害医療連絡会議の関係団体と災害医療訓練を実施しました。

①状況を付与した通信訓練

実 施：1月18日

会 場：各参加団体の執務室等

参加団体：区内医療機関（11機関）及び関係団体（5団体）

使用機器等：MC A無線、災害時優先携帯電話、E M I S（イーミス）広域災害救急医療情報システム、「診療中」「開局中」の旗など）

②のぼり旗掲出訓練

実 施：9月1日、1月16日、3月11日

参加団体：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会（151施設）



①災害医療訓練



②のぼり旗掲出訓練

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】地域防災力向上事業（総務局）

自治会・町内会等により組織されている「町の防災組織」や地域防災拠点運営委員会に補助金を交付し、各団体が実施する研修・広報・訓練などの自主防災活動を支援します。

【統合事業】緊急時情報システム運用事業

災害等に関する緊急情報を、電話を利用して区から直接、地域の防災組織の長（自治会町内会長）等に対して発信し、あわせて双方向機能を活用して受信状況を確認するシステムを運用します。

【再配当事業】母親（両親）教室事業（こども青少年局）

母親（両親）教室で助産師が妊産婦に対して災害時の備蓄等の周知を行っています。

妊産婦・乳幼児にかかる災害対策事業（こども青少年局）

鶴見大学・鶴見大学短期大学部及び一般社団法人横浜市助産師会と、母子専用型福祉避難所に関する協定を令和8年1月に締結し、同年3月には現地において、実際の避難生活を想定した訓練を実施しました。

事業番号 2		決 算 額
放置自転車対策事業		予算 (4,691,000 円)
		決算 (4,634,965 円)
		差引 (56,035 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略5 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり 政策番号 28 日常生活を支える地域交通の実現	
駅周辺において、安全で安心なまちづくりができるように、自転車等放置防止推進協議会の円滑な活動を支援するとともに、放置台数の多い箇所を中心に放置自転車対策を継続して行います。		
1 放置禁止区域内重点対策		
放置禁止区域のうち特に放置自転車の多い J R 鶴見駅・京急鶴見駅を中心に、駐輪場の利用促進や放置禁止の呼びかけを行う監視員を配置（夕方から夜間）するとともに、撤去・移動事業を行う道路局と連携して放置防止対策を実施しました。		
監視員配置日数：140 日		
啓発札貼付数：18,976 台		
2 自転車等放置防止推進協議会への支援		
各駅協議会に補助金を交付し、啓発活動を支援しました。		
対 象：6 駅（J R 鶴見駅・京急鶴見駅・生麦駅・鶴見市場駅・矢向駅・尻手駅）		
補助金交付時期：6 月		
■■ 関連する事業 ■■		
【局事業】放置自転車等移動・撤去業務（道路・交通政策局）		
J R 鶴見駅・京急鶴見駅周辺を重点とし、区内 6 駅周辺の自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等の移動・撤去を行います。		
【局事業】自転車等放置防止監視員業務委託（昼間）（道路・交通政策局）		
区内 6 駅周辺の自転車等放置禁止区域内の自転車利用者に対して指導を行います。		

事業番号 3 交通安全推進事業		決 算 額 予算 (1,909,000 円) 決算 (1,757,402 円) 差引 (151,598 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略5 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり 政策番号 28 日常生活を支える地域交通の実現	
安全で安心なまちづくりに向け、交通安全の普及啓発活動を推進するとともに、交通事故防止の対策を進めます。 1 交通安全啓発事業 (1) 交通安全運動 各季全国安全事業や、小学校・保育園の新入学・入園、自転車マナーアップなどの強化月間などの機会にあわせて、交通安全運動を実施しました。 ・各季安全運動：4、7、9、12 月 ・強化月間運動：3 回 - 自転車マナーアップ（5 月 13 日（火）） - 二輪車交通事故防止・暴走族追放（7 月 19 日（土）） - 違法駐車、放置自転車・バイククリーンキャンペーン (10 月 8 日（水）、27 日（月）) ・川崎市幸区役所、幸警察署および鶴見警察署と連携し、矢向駅周辺にて自転車マナーの啓発活動を実施：3 月 (2) 区交通安全対策協議会の運営 ア 幹事会・区自治連合会交通部連絡協議会：6 月 3 日（火）、8 月 26 日（火） 総会：3 月 6 日（金） イ 交通安全功労者表彰：3 月 6 日（金） 区内における交通安全と事故防止及び啓発に貢献した人・団体を表彰 個人：7 人、団体：6 団体 (3) 交通安全講習会 ア はまっ子交通安全教室、チリリンスクール（自転車乗り方教室） 実施：22 回 会場：区内小学校 22 校 イ 自治会町内会向け安全講習 団体：生麦第二自治連合会 実施：9 月 13 日（土）（雨天中止） (4) 新入学児童向けランドセルカバーの配布 鶴見交通安全協会と協力して、鶴見区マスコットキャラクター“ワックん”のイラスト入りランドセルカバーを製作し、新入学児童に配布しました。 作成数：2,300 枚 2 学校への支援 区内小学校 22 校に設置しているスクールゾーン対策協議会を支援しました。 また、通学路の安全を確保するために、土木事務所、警察署と協議・連携しながら、通学路の点検を実施し、路面表示等の新設・補修・撤去を行いました。 路面標示新設：4 か所、補修：13 か所		



事業番号 4 鶴見区防犯活動支援事業		決 算 額
		予算 (1,985,000 円)
		決算 (1,917,306 円)
		差引 (67,694 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化	

地域防犯力の向上のため、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援します。

1 防犯啓発活動

(1) 地域防犯リーダー研修会
自治会町内会の防犯部等を対象に地域の防犯リーダーの研修会を開催しました。
実施：12月25日(木)
参加者：74人

(2) 犯罪発生情報の提供
メーリングリスト登録者(区民)向けに犯罪発生情報を提供しました。
配信回数：月1回、計12回

(3) 振り込め詐欺の注意喚起
警察や関係機関と連携しながら、区民への注意喚起を実施しました。

2 子ども防犯活動支援事業

(1) 保育園児に対する子ども防犯教室の開催
実施回数：10回

(2) 「子ども110番の家」のプレートの提供
配付数：200枚

(3) 児童下校時見守り活動
実施：市立小学校全22校

3 地域防犯活動支援事業

地域の自主防犯活動や犯罪発生防止の支援を行いました。

(1) 防犯パトロール
児童の見守り及び振り込め詐欺発生抑止を目的とした防犯パトロールを実施しました。(実施回数：12回)
また、自治会町内会などの自主防犯活動を支援するため、防犯パトロール活動に必要な物品を提供しました。

(2) 迷惑電話防止機器の貸与
振り込め詐欺対策のため、鶴見警察署・鶴見区自治連合会・鶴見区防犯協会と連携し、区内の高齢者世帯に迷惑電話防止機器を貸与しました。

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】地域の防犯力向上緊急補助金（市民局）

自治会町内会等が、地域の防犯力向上に向け実施する公益的な取組への補助。
補助率 9/10、上限 20 万円

【局事業】地域防犯カメラ設置補助金（市民局）

自治会町内会等が実施する、防犯カメラの機器購入費、当該カメラ設置工事・看板設置にかかる経費（新規設置・更新とも可）への補助。
補助率 9/10、上限 28 万円

【局事業】LED 防犯灯新規設置事業（市民局）

自治会町内会等からの申請に基づき、横浜市防犯灯設置基準に合致し、優先基準の高いものから設置。
電柱共架型 300 灯（全市）（鋼管ポール型の申請受け付けはなし。）

事業番号 5		決 算 額
自治会町内会振興事業		予算 (3,995,000 円) 決算 (3,467,016 円) 差引 (527,984 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化	

地域活動の振興等に関連する行政や団体からの情報提供や、自治会町内会の活動支援を行いました。

1 地域振興連絡事業

区自治連合会の定例会後、自治会町内会に行政・団体からの情報や依頼事項等の資料配布を行いました。

実 施：毎月（8月を除く）

2 地域活動支援事業【拡充】

自治会町内会の地域課題である加入促進や魅力アップ、負担軽減等に向け、アドバイザー派遣や、ICT化補助などの支援を行いました。7年度は、より多くの自治会町内会へアドバイザーを派遣し、支援を充実させました。

・ICT 補助金 6年度：4町会→7年度：5町会

・アドバイザー派遣 6年度：3町会→7年度：3連合17町会

3 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長永年在職者に対して感謝状や記念品を贈呈しました。

実 施：3月3日（火）

感謝状対象：自治会町内会長5年（対象者数：17人）

記念品対象：自治会町内会長5年毎、地区連合町内会長10年毎（対象者数：25人）

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】地域活動推進費 （市民局）

自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。

また、市政及び区政に対する協力活動に対する謝礼として、地区連合町内会長に報償費を交付します。

【再配当事業】自治会町内会館整備助成事業 （市民局）

自治会町内会が行う自治会・町内会館の整備に関する費用に対して、その一部を助成します。

事業番号 6 地域のちから応援事業		決 算 額 予算 (2,250,000 円) 決算 (2,091,089 円) 差引 (158,911 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化	
区民や企業・団体等が自主的に実施する地域の課題解決に向けた活動に対し、講座の実施や補助事業等による支援を行いました。 1 鶴見区新たなチャレンジ応援補助金事業 地域の課題解決に向けた新たな活動を支援するため、スタートアップに係る補助金を交付しました。 交付団体数：8団体 2 地元企業を対象とした地域貢献講座 多くの企業や工場が立地する鶴見区の特徴を活かし、企業が地域活動に参画するノウハウ等を学ぶ地域貢献講座を実施して、企業と地域の関係を深め、協働の取組が進む機会を作りました。 実 施：10月6日（月） コーディネーター：横浜商科大学 西村悠氏 参加者：40人（事業者および自治会町内会関係者） 内 容：事例発表をふまえたワークショップ 事例①【寺尾第二】移動支援（東宝タクシー・社会福祉協議会） 事例②【市場】暮らしの保健室（石心会病院・こどもの家） 事例③【泉区】泉サポートプロジェクト（社会福祉法人たちばな会） 3 地域の課題解決サポート事業 複雑化・多様化する地域社会の課題解決に、地域が主体的・継続的に取り組めるようにするため、自治会町内会活動を支援するとともに地区の好事例を区内で展開ができるよう事業を実施しました。 事 業：イザ！カエルキャラバン 地域の防災訓練を通じた新たな担い手発掘の取り組み 自治会：小野町地区 参加者：200人 ・他の地区でも参考にできるようDVDを作成		

事業番号 7 鶴見・あいねっと推進事業		決 算 額 予算 (3,545,000 円) 決算 (3,368,995 円) 差引 (176,005 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号 10 地域の支えあいの推進	
鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）に基づき、地域やボランティア団体等との協働により福祉保健を中心とした様々な地域課題の解決に取り組みました。		
1 第5期区計画の策定【拡充】 次期計画となる第5期計画を策定しました。		
(1) 地区別計画の策定 地域と地区別支援チームの協働により、次期計画を策定しました。		
(2) 区全体計画の策定		
ア 策定検討会の開催 第5期市計画を踏まえ、次期区計画について策定作業を進めました。 実 施：6月27日、12月12日 第5期市計画の計画期間：6年度～10年度 第5期区計画の計画期間：8年度～12年度		
イ 鶴見・あいねっと推進委員会 区内福祉関係者等からなる推進委員会を開催しました。 推進委員会：8月29日、1月30日		
ウ 区民意見の募集及び反映 作成した計画素案への区民意見募集を行い、地域住民の意見を踏まえながら、計画を策定しました。 区民意見の募集期間：10月20日～11月20日		
2 鶴見・あいねっと推進フォーラムの開催 第5期区計画の周知及び福祉保健活動への参加者を広げる目的で開催しました。 実 施：3月20日 会 場：鶴見公会堂 参加者：約250人		
■■ 関連する事業 ■■		
【再配当事業】地域福祉保健計画推進事業（健康福祉局） 第4期区計画の推進支援及び、第5期区計画（計画期間8年度～12年度）の策定を支援します。		

事業番号 8 「広げよう見守りの輪」推進事業	決 算 額
	予算 (1,266,000 円)
	決算 (1,152,712 円)
	差引 (113,288 円)

横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号 10 地域の支えあいの推進
----------------------	--

ひとり暮らし高齢者や障害者など支援を必要とする人に対し、日常的な見守りや訪問活動を充実させることにより、顔の見える関係づくりを進め、緊急時・災害時に地域で支えあう見守り体制の強化・促進を図りました。

1 定期訪問・見守り活動支援

民生委員に救急医療情報キット及び高齢者連絡票を配布し、緊急時の迅速な対応に役立てました。

また、熱中症や事故予防等の保健に関するチラシを配布するなど、民生委員が行う訪問・見守り活動の一助となる取組の充実を図りました。

定期訪問・見守り活動対象者数： 約 2,600 人（8年3月末）

定期訪問・見守り活動対象者訪問延べ回数：約 40,000 回（令和7年度）

2 高齢者・障害者への災害時支援の仕組みづくり【拡充】

災害発生時に自助・共助が行われる地域を目指し、民生委員・児童委員、自治会・町内会に対して、地域の支援者と高齢者・障害者の関係づくりを促すための啓発物品配布や外部講師による専門家派遣を実施しました。

<支援対象者名簿の提供>

令和8年4月1日現在

	自治会・ 町内会数	対象者数	名 簿 登載者数	名 簿 登載率
合計	126	10,814 人	8,610 人	約 79.6%
同意方式	19	1,976 人	1,095 人	約 55.4%
情報共有方式	107	8,838 人	7,515 人	約 85.0%

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局）

75歳以上ひとり暮らし高齢者等の名簿を、区役所から民生委員と地域包括支援センターに提供し、3者で共有して必要な支援につなげました。区内全地区で、名簿をもとに民生委員が各戸訪問等を実施しました。

施策 2 区内経済・活力の向上

事業番号 9 鶴見区魅力づくり事業		決 算 額
		予算 (5,320,000 円)
		決算 (4,768,787 円)
		差引 (551,213 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略4 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現 政策番号 22 観光・MICE の振興	

2027 年に迎える鶴見区制 100 周年を見据え、区内の企業や大学、団体等との繋がりを生かした公民連携による誘客企画・取組等を実施するとともに、区内外へ鶴見区の魅力を発信しました。

1 地域や団体、企業等との協働によるイベントの実施

(1) 「鶴見ウチナー祭」の共催

実 施：11 月 1 日（土）、2 日（日）

参加者：延 60,000 人

会 場：入船公園

内 容：飲食ブース、体験型ブース、ステージ 等

(2) 鉄道事業者との連携事業

実 施：10 月 10 日（金）～12 月 15 日（月）

会 場：鶴見区内各所

内 容：「京急×横浜鶴見 周湯スタンプラリー vol.2」

銭湯や温浴施設を中心に区内の周遊を促進するスタンプラリー企画

実 績：参加登録者数 469 人、スタンプ総取得数 1,468 個

2 魅力発信

区制 100 周年を含め、啓発物品の作成や庁内外の装飾など、効果的な魅力発信に取り組みました。

事業番号 10		決 算 額 予算 (15,912,000 円) 決算 (15,785,447 円) 差引 (126,553 円)
多文化のまち・つるみ推進事業【重点】		
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号 11 多文化共生の推進	
「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言」や、鶴見区多文化共生基本指針（6年度策定）に基づき、外国人も暮らしやすいまちとなるよう、生活情報の発信や相談対応等を充実させるとともに、区全体で多文化共生を進める機運の醸成に取り組みました。		
1 生活情報の発信		
行政からの情報が届きにくい外国人を対象に、広報よこはまに掲載されている情報や日常生活の役に立つ情報を、インターネットやFacebook 等を使ってわかりやすく発信しました。 また、国際交流ラウンジと連携しながら、外国人が日常的に利用する小中学校や保育園、店舗等で生活情報を気軽に入手できる「情報発信拠点」を運営しました。 情報発信拠点設置数：60 か所（うち 1 か所は設置後閉店/R7 年度：10 か所増）		
2 タブレット端末による多言語対応事業		
複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを実施しました。 対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語及びポルトガル語等 設置台数：9 台 通訳回数：92 回 ※経費の一部は国際局予算を活用。		
3 翻訳推進事業		
庁内各課において作成した資料等の多言語翻訳について、区で取りまとめ、一括契約を行います。 翻訳数：32 件（13 か国語）		
4 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業【拡充】		
Web ページ等を活用し、外国人向けの生活情報へのアクセス性の向上のほか、鶴見区多文化共生基本指針に係る各種取組についてより身近に感じられるよう、啓発の充実を図り、庁内全体や地域、関係機関等区全体で多文化共生を進める機運の醸成等に取り組みました。 ◆外国人向けの生活情報を発信する Web ページの整備（3月） ◆多文化共生に関わる支援機関との意見交換会の実施（3月） 実施：3月12日（木） 会場：鶴見区役所 参加者：13 人 参加機関：鶴見区役所、鶴見国際交流ラウンジ、横浜市国際学生会館、鶴見ひまわり		
		
多文化共生ネットワーク意見交換会		

5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

外国人に対する相談対応や情報提供を行うとともに、区内の多文化共生を推進する取組を行いました。

(1) 相談対応・情報提供

ア 8言語（英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、日本語）による相談対応

イ 「鶴見国際交流ラウンジニュース」の発信

発信回数：年 11 回

ウ ホームページの運営

エ SNS（Facebook、Instagram 等）を活用した情報発信

(2) 各種教室の実施

ア 外国籍の未就学児と保護者を対象とした暮らしのガイダンス

実施：6 回 参加者：延 34 組

イ 学習支援教室【拡充】

日本語指導を必要とする子どもたちを対象に、小学生クラスと中学生クラスを設置しました。とりまとめを行う学習支援コーディネーターの増員や講師役を担うボランティアへの交通費の補填により、体制を充実させるとともに、鶴見大学やコミュニティハウスと連携したサテライト教室を実施しました。

(ア) 学習支援教室 小学生 第1・3土曜日開催（学習者延べ 703 人）

中学生 毎週月曜日開催（学習者延べ 730 人）

ボランティア延べ 1,225 人参加

(イ) 鶴見大学と連携したサテライト学習支援教室（T-Kids サテライト）の開催

7月19日（土）より月1、2回程度開催

（学習者延べ 159 人、ボランティア延べ 152 人参加）

(ウ) 新鶴見小コミュニティハウスにて夏休みサテライト宿題教室開催

8月8日（金）、9日（土）の2回開催（学習者延べ 11 人、ボランティア延べ 17 人参加）



鶴見大学での学習支援サテライト教室

ウ 外国人区民と日本人区民交流イベント

実施：5 回 参加者：延 418 人

エ 地域人材育成講座

(ア) 日本語サポーター入門講座（多文化共生の地域人材育成）

実施：9 回 参加者：24 人

(イ) 地域日本語教室ボランティア向けブラッシュアップ講座

実施：3 回 参加者：延 53 人

オ 防災啓発活動の実施

外国人を対象とした防災講座等の啓発活動の実施。

(ア) 防災に役立つピクトグラム等を学ぶお笑い交流イベント

6月1日(日)開催 参加者:36人(外国人25人、日本人11人)

(イ) 防災教室(総務課防災担当連携)

12月7日(日)開催 参加者:13人(外国人12人、日本人1人)

(3) 情報発信拠点の設置・管理運営

(再掲) 19 ページ

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】外国人の集住が進む5区の国際交流ラウンジの地域連携事業(国際局)

外国人集住5区(鶴見・中・南・緑・都筑区)への地域課題解決・活躍促進専任スタッフの配置を行いました。

事業番号 11		決 算 額	
商店街魅力発信事業		予算 (2,336,000 円)	
		決算 (2,090,352 円)	
		差引 (245,648 円)	
横浜市中期計画 2022-2025	戦略4 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現 政策番号 20 中小・小規模事業者の経営基盤強化		
地域コミュニティの核である商店街が地域と連携しながら、商店街の魅力を発信することにより、商店街の振興と地域のにぎわい創出に結びつくよう支援しました。			
1 鶴見区商店街魅力発信支援事業 商店街と地域が連携した事業に補助金を交付し、支援しました。 交付事業数：7 事業			
2 商店街にぎわい創出事業 区内の商店街を周るデジタルも活用したスタンプラリーイベントを実施することで来街を促し、商店街のにぎわいを創出しました。 実施：10～12 月 参加商店街・店舗数：12 商店街・58 店舗 応募件数：579 件			
■■ 関連する事業 ■■			
【再配当事業】商店街活性化イベント助成事業 (経済局) 商店街が行うイベントにかかる経費の一部を補助しました。			
【再配当事業】魅力ある商店街づくり事業 (経済局) 商店街の魅力発信や活性化に向け、区局連携事業としてデジタルも活用したスタンプラリーイベントを実施しました。			
【局事業】商店街環境整備支援事業 (経済局) 商店街の行う街路灯や防犯カメラ、駐車場、舗道等のハード整備にかかる経費の一部を補助しました。(新設・改修・撤去)			
【局事業】安全・安心な商店街づくり事業 (経済局) 安全・安心な地域づくりのため、商店街が維持管理する街路灯の電気料金等を支援しました。			

事業番号 12 鶴見区民まつり支援事業		決 算 額 予算 (3,500,000 円) 決算 (3,500,000 円) 差引 (0 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化	
子どもから高齢者まで幅広い年代の区民が鶴見への愛着を深め、地域とのつながりを感じられる機会とし、地域活性化を図るため、地域との共催による区民まつりを開催しました。各区民まつりを通じて、地域と連携し、横浜グリーンエキスポや区制 100 周年等、本市事業の PR、浸透に取り組みました。 1 三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル 区民が「文化・環境」と触れ合う機会をつくり、地域に対する興味・関心を高めてもらうイベントでしたが、中止となりました。 実 施：5 月 17 日 ◆当日荒天のため中止 会 場：県立三ツ池公園 2 つるみ臨海フェスティバル 区民が臨海部に親しむ機会をつくり、幅広い年代が気軽に参加できる場を設けることで、地域交流を推進しました。 実 施：10 月 18 日 (土) 参加者：59,000 人 会 場：入船公園 内 容：模擬店、ステージ発表、スポーツ体験、横浜グリーンエキスポ・区制 100 周年の PR 等		

事業番号 13		決 算 額
鶴見区制 100 周年記念事業【新規】		予算 (1,000,000 円)
		決算 (997,600 円)
		差引 (2,400 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化	
令和9（2027）年に鶴見区制 100 周年という大きな節目を迎えるにあたり、施策検討に必要な情報収集、関係区局・団体等との緊密な連携を図るなど、区で一体となって機運醸成を図りました。		
1 区制 100 周年記念事業実行委員会の運営		
ア 第1回実行委員会		
実 施：令和7年3月19日（水）		
会 場：区役所		
参加者：57 人（委員 52 人・顧問 5 人）		
イ 第2回実行委員会		実行委員会
実 施：令和7年7月18日（金）		
会 場：区役所		
参加者：59 人（委員 53 人・顧問 6 人）		
ウ 第3回、第4回実行委員会		
令和7年12月26日（金）、令和8年3月18日（水）書面開催		
2 周年ロゴ決定及びそれを活用した広報・機運醸成		
		
ロゴマーク・キャッチフレーズお披露目式		ロゴマーク等を活用した広報例（グッズ・装飾）
3 プレ・イヤーである8年度、本番年である9年度に向けた企画検討		

事業番号 14		決 算 額
鶴見区環境行動推進事業【重点】		予算 (2,400,000 円)
		決算 (1,893,640 円)
		差引 (506,360 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略3 Zero Carbon Yokohama の実現 政策番号 18 脱炭素社会の推進	

地域や企業との連携のもと、横浜グリーンエキスポに向けた機運醸成や、プラスチックごみの分別・リサイクルの拡大を契機とした脱炭素行動の啓発を推進しました。

また、沖縄とのつながりなどを生かした海洋環境保護や環境行動に関する啓発イベントのほか、小中学校を対象とした民間企業等の環境をテーマとした出張授業・工場見学の紹介などを通じて、子どもをはじめ各家庭での環境への意識向上を図りました。

1 企業等と連携した脱炭素・環境保護等に関する啓発イベント【拡充】
(つるみ・ちゅうらうみ エコフェスタ 2025)

海洋環境保護に加え、テーマを広く脱炭素に関する取組に広げ、楽しみながら環境行動について学べるイベントを開催しました。

イベント名：つるみ・ちゅうらうみエコフェスタ 2025
実施：10月4日(土)、5日(日)
会場：サルビアホール
参加者：延約2,500人



海の専門家による小学生向け授業



鶴見小の鶴見川水族館「ツルスイ」

2 脱炭素行動に係る区民参加型企画

各種イベント等で、来場者に「GO GREEN (=環境にやさしい行動)」を宣言してもらう企画を通じて、多くの区民の脱炭素行動への意識醸成、参画促進を図りました。

実施時期：令和7年8月～令和8年3月
実施イベント：つるみ臨海フェスティバル、つるみ夢ひろば in 総持寺、
鶴見ウチナー祭、つるみ区民デー(横浜FC)等
参加者：約1,400人(アンケート参加者)

3 企業等と連携した区内小中学校向け出張授業・工場見学の紹介
掲載講座数：25講座

4 区庁舎の緑化推進(区役所サービス向上事業から移行)

区制100周年及び横浜グリーンエキスポに係る機運醸成を契機とした、市民が緑を実感できる区庁舎の緑化を推進しました。

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】GREEN×EXPO推進事業（脱炭素・GREEN×EXPO推進局）

横浜グリーンエキスポ開催に伴い、区民まつりをはじめ、多くの人が集まるイベントやスポットでのPR等を実施し、認知度向上や機運醸成に取り組みました。

【再配当事業】地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業（みどり環境局）

ガーデンネックレス横浜 2025 開催に伴い、鶴見区のみどりに親しむイベント等を実施し、まちの魅力向上やにぎわい創出に取り組みました。

事業番号 15 地域文化・区民活動推進事業		決 算 額 予算 (2,903,000 円) 決算 (2,907,497 円) 差引 (△4,497 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化	
区民に様々な文化活動の発表の場と、文化・芸術の鑑賞の機会を提供し、文化活動への関心を高め、地域文化の振興を図りました。 また、区民の地域での活動を促進するため、活動が始めるきっかけとなる講座や担い手を育成する事業を実施しました。 1 地域文化推進事業 鶴見区民文化祭への補助金交付を通じて、区民の文化活動を発表する場と文化・芸術に触れられる機会をつくりました。 (1) 開催年月日：令和7年9月9日（火）～7年12月14日（日） (2) 主催団体：鶴見区文化協会 (3) 実施事業数：14 (4) 入場者数：5,223 人 2 つるみ区民活動センター事業 (1) 相談・コーディネート・機材貸出 (2) 情報提供・ボランティア登録 ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」の発行 イ 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録 (3) 講座・イベントの実施 ア 生涯学習・社会教育推進講座「つるみ MACHI 塾×鶴見まちゼミナール 2025 コラボ企画」 実 施：10月27日（月） 参加者：21 人 イ 生涯学習ボランティア、登録団体紹介展「つるみ区民活動センターまつり」 実 施：2月15日（日） 参加者：演技…179 人、展示…75 人、ワークショップ…20 人 来場者：576 人 (4) 区民利用施設間の連携強化 施設スタッフ向け研修会・意見交換会を実施しました。 実 施：10月1日（水） 参加者：25 人 講 師：湘南 NPO サポートセンター 坂田美保子理事長 3 読書活動推進事業 (1) 区民の読書に対する関心を高めることを目的に、つるみ読書講演会を開催しました。 実施：12月13日（土） 参加者：324 人 講 師：柊野 俊明（建功寺住職、庭園デザイナー）		

- (2) 第三次横浜市民読書活動推進計画が策定（令和7年3月）されたことを踏まえ、令和7年10月に第三次鶴見区読書活動推進目標を策定し、鶴見区民の読書活動の充実に取り組みました。

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）

読書活動の推進に向けて、全市的な普及啓発イベントや区の地域性に応じた取組を推進しました。また、今後の読書活動推進の取組と方向性を示す「第三次横浜市民読書活動推進計画」を策定しました。

事業番号 16 区民スポーツ振興事業		決 算 額
		予算 (650,000 円) 決算 (630,000 円) 差引 (20,000 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号8 スポーツ環境の充実	
区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、区民スポーツ大会やスポーツ教室等の実施するほか、トップスポーツチームと連携した企画を実施することで、区民がスポーツに触れる機会を更に創出しました。		
1 鶴見区スポーツ協会支援事業 各種区民スポーツ大会・教室の開催を支援し、スポーツの普及・振興を進めました。		
2 トップスポーツチーム連携事業【新規】 トップスポーツチームと地域の交流支援や、区民向けスポーツ観戦企画の実施により、区民がスポーツに慣れ親しむ環境を創出しました。		
種目	チーム名	連携内容
サッカー	横浜 FC	観戦企画：11 月 30 日（日） 参加者数 511 人
サッカー	横浜 F・マリノス	地域交流：令和 8 年実施に向けて計画
バスケットボール	横浜エクセレンス	地域交流：10 月 18 日（土） 観戦企画：2 月 20 日（金）～ 2 月 21 日（土） 参加者数 670 人 ※二日間合計
ラグビー	横浜キャノンイーグルス	地域交流：10 月 18 日（土）、 12 月 7 日（日） 観戦企画：1 月 17 日（土） 参加者数 2,677 人 ※神奈川・中区含む
 区民向けバスケットボール観戦企画 (横浜エクセレンス)  小学校ラグビー教室 (横浜キャノンイーグルス)		
■■ 関連する事業 ■■		
【再配当事業】 トップスポーツチーム連携事業 (にぎわいスポーツ文化局)		区がスポーツチームと連携実施する事業において、予算再配当(1 事業あたり上限 8 万円)を実施。

施策3 子どもから大人まで安心・元気に

事業番号 17 ヘルスアッププラン【重点】		決 算 額 予算 (2,835,000 円) 決算 (2,647,178 円) 差引 (187,822 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号7 市民の健康づくりと安心確保	
市民の健康づくりの指針である「健康横浜 21」の基本目標である、健康寿命の延伸を実現するため、区民の生活習慣の改善・意識や行動の変化に資する講座や啓発等を実施し、区民の平均自立期間（日常生活に介護を要しない期間の平均）を延ばします。 1 生活習慣病予防 (1) あらゆる世代への健康啓発【拡充】 SNS や区民利用施設、区内商業施設（健康づくり推進会議参加団体を含む）等で動画やポスター等の媒体を活用し、生活習慣病や健診・がん検診等の啓発を行いました。 啓発施設：区民利用施設、町内会館、区内商業施設等 対象者：がん検診、特定検診受診対象年齢の区民 (2) 運動普及啓発【拡充】 区民が運動を始めるきっかけを作るため、SNS からイベント申込等に誘導できる仕組みの利用や民間企業、関係団体と連携した参加型のイベント等を行いました。また、新たなウォーキングマップの作成を行いました。 <鶴見川プロギング※ イベント> 実 施：11月16日（土） 会 場：鶴見区役所、鶴見川河川敷 参加者：39人   鶴見川プロギングイベント (横浜市鶴見スポーツセンター・森永製菓・F・マリノススポーツクラブ) ※プロギング：スウェーデン語の「拾う (PlockaUpp)」と英語の「走る・ジョギング (Jogging)」かけ合わせた、ジョギングをしながらごみ拾いをするという新しいフィットネスです。		

2 ComeCome（噛む噛む）元気大作戦！（歯科保健事業）

（1）親子わくわく歯っぴい・食育講座

歯が生え始めた児とその保護者を対象にむし歯予防や歯磨き方法と幼児期からの適切な食習慣についての講座（個別相談を含む）を実施しました。

また、保護者を対象に歯周病やオーラルフレイルについて啓発を行いました。

実 施：年 12 回

会 場：区役所

参加者：91 組

対象者：1 歳 2 か月未満の乳幼児と保護者



親子わくわく歯っぴい・食育講座

（2）歯周病・オーラルフレイル予防等啓発

6 月の「歯と口の健康週間」や 10 月の健康づくり月間、両親教室（月 1 回）の機会に歯周病やオーラルフレイル予防の啓発を行いました。

< 歯と口の健康週間 >

実 施：6 月 1 日（日）

会 場：区役所

参加者：272 人



歯と口の健康週間

3 食育事業

バランスよく食べる等の食生活に関する知識・情報の普及啓発のほか、将来を見据えた健康づくりを推進するため、食行動の発達段階に合わせた講座等を実施しました。

（1）食育イベントおよび食育研修会

6 月の「食育月間」や 10 月の「健康づくり月間」等で、食育に関する啓発を行います。また、食育に携わる関係者を対象とした研修会を年 1 回実施しました。

(2) 離乳食教室

幼児期からの適切な食習慣の定着、基礎づくりを目指した講座を行いました。

実 施：年 12 回 ※合計 24 回

参加者：140 組

対象者：7～9 か月児と保護者

(3) 食育ミニ講座

3 歳児健診会場で、子どもや保護者が食について学ぶミニ講座をボランティアが実施しました。

実 施：年 36 回

参加者：1763 組

対象者：3 歳児と保護者



食育ミニ講座啓発媒体

4 鶴見区健康づくり推進会議

区内の民間企業・関係団体と区の健康課題、健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため健康づくり推進会議を実施しました。

実 施：健康づくり推進会議（臨海フェスティバルにおいて実施）

対 象：区内の民間企業、関係団体等

＜臨海フェスティバル＞

実 施：10 月 18 日（土）

内 容：三師会健康相談、ヘルスメイトによる災害備蓄シールアンケート

参加者：アンケート回答 452 人

事業番号 18 感染症対策事業		決 算 額 予算 (703,000 円) 決算 (701,835 円) 差引 (1,165 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号7 市民の健康づくりと安心確保	
区内施設や区民が、適切に感染症の予防や感染拡大防止に取り組めるよう、感染管理認定看護師等の専門家と連携してより実践に近い内容の研修及び啓発を行います。 また、新型インフルエンザ等発生に備え、区職員を対象とした研修や他機関との連携強化を図ります。 1 区内施設向け啓発 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の知識や発生時の対応方法について、感染症対策指導者養成研修開催案内に併せて保育所、幼稚園、高齢者・障害者施設などの関連施設に情報提供しました（8月）。 送付実績：338 施設 2 感染症対策指導者養成研修 新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等の患者発生時の初期対応を中心に、施設の施設管理者や従事者を対象に、感染管理認定看護師等と連携し、実技を中心としたより実践に近い内容の研修を行い、対策強化につなげました。 実 施：9 月 10 日（水）、9 月 29 日（月） 参加者：63 施設 3 区職員向け研修・訓練 新型インフルエンザや新興感染症・輸入感染症の発生に備え、職員が適切に対応できるよう研修と訓練を実施しました。 実 施：12 月 22 日（月） 会 場：区役所 参加者：14 人		

事業番号 19 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業		決 算 額 予算 (1,245,000 円) 決算 (1,317,234 円) 差引 (△ 72,234 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号13 障害児・者の支援	
障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めます。 1 鶴見区地域自立支援協議会の推進 障害児・者が地域で生活していくことを支援する関係機関等が情報・課題を共有し、連携して課題に取り組みました。また、協議会を活用して、関係機関職員等の質の向上に資するための研修を実施しました。 ＜構成員＞ 基幹相談支援センター、地域活動ホーム、精神障害者生活支援センター、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、支援学校、地域ケアプラザ等 (1) 会議 ・代表者会議：年1回 実施：5月30日（金） ・担当者会議：年3回 実施：6月24日（火）、10月30日（木）、1月27日（火） ・専門部会3部会（相談・権利擁護・精神保健福祉）実施：17回 (2) 研修 関係機関職員等の知識・技術の向上やネットワークの構築を図り、業務やケース支援等に生かしていくための研修を実施しました。 実 施：年4回 2 障害理解の推進 地域のイベントへの参加や地域防災拠点訓練等での啓発、障害者週間に合わせたキャンペーン等を行い、区民の障害理解の促進を図りました。 (1) 地域のイベントへの参加 スポーツ推進委員連絡協議会主催のボッチャ大会参加を通じた地域との交流を図りました。 実 施：6月15日（日） 会 場：鶴見スポーツセンター 参加人数：89人（20チームのうち障害のある方のチームは3チーム参加） ※参加賞として、障害福祉サービス事業所自主製品を配布すると共に、障害理解に関するアンケートを実施 (2) 地域防災拠点訓練等での啓発 （再掲）6ページ (3) 各種キャンペーンの実施 ア 福祉施設等の自主製品（鶴っこ製品）販売支援 区役所1階ロビー、商業施設、大学等での自主製品販売支援を行いました。 イ 障害者週間（12月3日から9日まで） ① 施設等紹介パネルの展示や福祉施設の自主製品の販売、広報よこはま掲載等、		

啓発活動を行いました。

会場： 区役所 1 階ロビー、鶴見図書館展示コーナー、鶴見スポーツセンター

② ボッチャ体験会(12月3日(水))

会場： CIAL鶴見屋上広場

3 専門職のスキルアップ研修の実施

社会福祉や保健師等の専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を向上させるための研修を実施しました。

実 施：年 4 回

4 障害児支援者ネットワーク推進事業【新規】

障害児支援に向けて、より効果的に切れ目なく安心した生活を送るために、当事者の支援に関わるすべての関係者が保護者同意のもとで支援目標を共有する仕組みを構築しました。

ファイル配付開始：6 月

実施：通年 対象者数：2,000 人

配布状況：約1,500 人へ配布

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】自殺対策事業（健康福祉局）

横浜市自殺対策計画に基づき、「誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指し、「ゲートキーパー」の育成や普及啓発の推進に取り組めます。

- ・ 区職員等向けゲートキーパー研修の実施
- ・ 自殺対策強化月間（9 月、3 月）において啓発動画放映
- ・ 鶴見図書館での普及啓発パネル展示（9 月）
- ・ 相談支援機関等の職員を対象とした自殺に関する研修の実施

番号 20 鶴見区高齢者はつつ生活応援事業		決 算 額 予算 (569,000 円) 決算 (629,596 円) 差引 (△ 60,596 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号 15 高齢者を支える地域包括ケアの推進	
高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、認知症などに関する啓発事業を行います。 1 認知症普及啓発事業 (1) 認知症サポーター養成講座、パネル展 認知症についての正しい理解と地域への普及啓発を目的に、地域ケアプラザと連携して認知症サポーター養成講座等を開催し、参加者にはオリジナル啓発グッズ(ハンカチ)を配付しました。あわせて、認知症等普及啓発にかかるパネル展を開催しました。 実 施：9月(アルツハイマー月間)～10月 会 場：区役所及び、地域ケアプラザ等計11か所 認知症サポーター養成講座参加者：365人 (2) 区内認知症カフェ紹介冊子のリニューアル 作 成：1月 部 数：2,000部 2 エンディングノート普及・啓発事業【新規】 高齢者のさらなる増加を踏まえ、幅広い世代の方がこれからのライフプランを前向きに考える機会として、動画等を活用してエンディングノートの普及啓発を進めました。 内 容：ノートへの記入を通して自分の考えを整理することができ、自分らしい生き方の創出になる旨を15秒程度でまとめました。詳細が分かる二次元コードを掲載しました。 実 施：通年(区高齢・障害支援課待合スペース)、 11月(エンディングノート講演会にて放映)、 1月(区役所待合スペース・鶴見駅東西自由通路) ■■ 関連する事業 ■■ 【再配当事業】認知症施策の推進 (健康福祉局) より多くの人々が認知症を我が事と捉え、周囲や地域の理解と協力の下、認知症の人が希望を持って前を向き、力をいかしていくことで、住み慣れた地域の中で尊厳を保ちながら自分らしく暮らし続けることができる社会を目指します。 ・認知症に関する普及啓発(認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイトの育成等) ・チームオレンジ事業 ・認知症高齢者等SOSネットワーク ・認知症初期集中支援チーム		

【再配当事業】地域づくり型介護予防事業（健康福祉局）

介護予防は、要介護状態となることの予防や要介護状態の軽減・悪化の防止を目的とする取組みです。高齢者の心身の機能の改善のみならず、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組みを支援して、生活の質の向上を目指します。

- ・介護予防普及啓発事業（フレイル予防、口腔機能向上、ロコモ予防）
- ・元気づくりステーション事業
- ・地域リハビリテーション活動支援事業

【再配当事業】市民の意思決定支援事業（エンディングノート等普及啓発）

（健康福祉局）

市民一人ひとりが自らの意思で生き方を選択し、人生の最期まで自分らしく生きることができるよう、エンディングノートの配布や書き方講座等を開催し、高齢者等に必要な情報を提供します。

【再配当事業】地域包括ケアの推進（健康福祉局）

「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区アクションプラン」に基づき、鶴見区の地域包括ケアシステムを推進します。

事業番号 2 1 つるみ DE 子育て応援事業		決 算 額
		予算 (4,518,000 円)
		決算 (4,484,530 円)
		差引 (33,470 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり 政策番号1 切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～	
妊娠中から継続した関わりで、家庭・地域の育児力をアップし、地域の子育て支援の充実と、安心して子育てができる環境を整えました。		
1 地域育児教室（赤ちゃん会） 原則第1子の0歳児と保護者を対象に月1回程度開催しました。 実 施：1会場あたり10回程度（年196回） 会 場：地区センター、地域ケアプラザ等19か所		
2 親子の居場所普及事業 親子が気軽に立ち寄れる、親子の居場所「ふらっとる一む」の運営を支援し、のぼり旗等を配布しました。 実 施：49か所		
3 学校・地域連携促進事業【拡充】 学校と地域の連携を促進する活動に対して区長の感謝状を贈呈しました。併せて、感謝状と共に区制100周年及び横浜グリーンエクスポに関する記念品を贈呈し、機運を醸成しました。 実 施：小学校4校、中学校3校		
4 子育て情報普及啓発事業 (1) 「手続きガイド」の提供 子育てにかかわる区役所窓口の手続きがオンラインでわかる「手続きガイド」を区ホームページに掲載して、利用者に提供しました。		
(2) 「つるみ区子育て応援ガイドブック」の発行 鶴見区内の情報を集約した子育て情報誌「つるみ区子育て応援ガイドブック」を発行して、保護者等に子育て情報を普及しました。 部 数：7,000部 発 行：8月末		
5 放課後児童健全育成事業 放課後児童の居場所をより安全、安心、居心地の良い場所にするため、放課後児童健全育成事業に従事している職員に対し研修を行うことで、知識の習得及び意識の向上を図りました。		

・放課後児童健全育成事業従事者向け研修

「配慮が必要なお子さんの理解と対応について」

実施：11月7日（金）

参加者数：53人

「おやつの工夫と提供時の衛生、安全」

実施：11月26日（水）

参加者数：17人

「放課後児童健全育成事業所における遊びや製作活動、表現活動」

実施：12月2日（火）

参加者数：14人

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】乳幼児一時預かり事業（こども青少年局）

養育者のリフレッシュを主な目的に乳幼児を預かります。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。

【局事業】親と子のつどいの広場（こども青少年局）

育児にかかわる心身の負担軽減等を図るため、親子の交流や集いの場の提供、情報提供、一時預かりを行う事業です。区内には「はなはなひろば」「キッチン」「こま一ま」「Coron」「Lico」があります。

【局事業】産前産後ヘルパー派遣事業（こども青少年局）

妊娠期または出産後5か月（多胎児の場合は出産後1年）未満にあつて、日中に家事育児の支援を受けられない方にヘルパーを派遣し、育児不安や心身の不調による家事育児負担の軽減を図ります。

【再配当事業】地域子育て支援拠点事業（こども青少年局）

未就学児の親子を対象に、遊びや交流スペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う拠点として「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」を設置しています。

【再配当事業】横浜子育てサポートシステム（こども青少年局）

子どもを預かってほしい人と預かれる人が会員登録をして預かりなどの子育てニーズに対応する事業です。鶴見区では子育て支援拠点「わっくんひろば」が事務局を担っています。

事業番号 22 つるみの未来を育てる保育所事業【重点】		決 算 額 予算 (3,949,000 円) 決算 (3,240,785 円) 差引 (708,215 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり 政策番号2 切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～	
区内保育施設等職員及び民間保育園施設長に向けて、多文化理解を図るための研修等の取組を実施するとともに、園庭開放など市立保育所資源を活用した子育て支援を実施しました。 また、引き続き、保育・教育コンシェルジュによる個別相談を実施するとともに、外国籍子育て世帯に向けた保育所等一覧・マップの多言語版の作成など、きめ細やかな入所支援を行いました。 1 保育所多文化共生事業【拡充】 市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修を実施し、保育施設等職員や園児の外国文化の理解へ繋げました。 あわせて入所手続きや入園後の生活をより円滑にしていくことを目的に、民間保育園施設長向けの研修等の取組を実施しました。 ・市立保育所と区内保育施設等との職員向け多文化共生研修 実 施 : 12月3日(水) 内 容 : 多文化共生に関するワーク等 ・民間保育園施設長向けの研修 実 施 : 5月13日(火)、9月16日(火)、1月9日(金) (同内容を3回に分けて実施) 会 場 : 区役所会議室 参加者数 : 区内認可保育所等 96人 そのほか、外国につながるご家庭を主な対象として、入所に向けた不安の解消を図るため、保育所でのお子さんの過ごし方や園での注意事項、ルールなどを分かりやすく紹介する動画を制作し、市HPに掲載するとともに、区内保育所へ提供しました。 また、保育所等において外国につながるご家庭への対応をより円滑に進めるため、多文化共生保育事例集を作成し、区内保育所へ提供しました。 民間保育園施設長向けの研修 多文化共生保育事例集		

2 保育所資源活用事業

(1) 市立保育所園庭開放

市立保育所の園庭を地域の親子に開放しました。また有償ボランティアを配置し、育児相談等に対応することで市立保育所を活用した育児支援を充実しました。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

(2) 図書を活用した地域子育て支援事業

市立保育所を会場にして、子育て中の親子向けに絵本の読み聞かせなどのイベントや、絵本等の貸出を行うことで育児支援や読書の機会の増大に繋がりました。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

3 保育所入所支援事業

認可保育所、地域型保育事業、及び認定こども園の定員、保育時間等及びその位置を周知するため、鶴見区の保育所等一覧・マップを発行しました。

また、外国につながる保護者向けに保育所等マップの多言語版の作成・配布や、保育園入所のガイダンスを実施しました。

＜保育所一覧等の発行＞

発行時期：10月、3月

部 数：20,000部（年間）

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業（こども青少年局）

市立保育所を中心に認可保育所や横浜保育室などの保育資源とともに地域子育て支援イベントや交流会を実施します。また、保育の質向上研修を行います。

事業番号 23 鶴見区虐待予防事業		決 算 額 予算 (2,659,000 円) 決算 (2,593,242 円) 差引 (65,758 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり 政策番号4 児童虐待・DV の防止と社会的養護の充実	
子育てに関する負担を軽減し、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）の予防を目指しました。		
1 親支援講座 子どもとのコミュニケーション学習を目的とした支援者向け研修会を開催しました。		
・支援者向け研修会 実 施：9月30日（火） 対 象：子育て支援関係施設職員等 内 容：「こどもの心とからだを育てるヒント」		
・市民向け啓発リーフレットの作成・配布赤ちゃん会や乳幼児健診で活用しました。 内 容：親子の関わり方・健全な成長の促し 部 数：4,000部		
2 専門家相談 子育て中の親の不安を軽減するため、専門家による相談を行いました。		
・臨床心理士による子育て中の親の相談（年40回） ・弁護士による相談（年8回） ・精神科医師による精神疾患に関する相談（年12回） ・学識経験者による児童虐待に関する相談（年5回） ・外国籍親子等に関する弁護士相談（年1回）		
3 虐待予防中学校等出張講座 中学校3年生を対象とした講座の開催や授業で使用する啓発物品貸出を行いました。また、包括的性教育（人権を基盤としたジェンダー平等や性の多様性、自己決定）を推進するため、学齢期等のお子さんがある保護者および小中学校の養護教諭等を対象に研修会を実施しました。		
・保護者・養護教諭等対象 実施：12月17日（水） 包括的性教育、思春期に関する研修会		
4 虐待緊急対応 緊急性の高い虐待通報へ迅速な対応を行いました。		

■■ 関連する事業 ■■

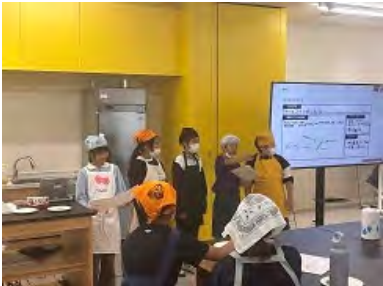
【再配当事業】児童虐待予防啓発地域連携事業（こども青少年局）

児童虐待防止の地域への啓発を行うと共に、関係機関への研修や職員を対象にした専門研修を行い、虐待対応のスキルアップを図ります。

【局事業】産後母子ケア事業（こども青少年局）

助産所等が、デイケア及びショートステイを行い ①お母さんのケア ②赤ちゃんのケア ③その他指導相談等を行う、養育支援を目的にした事業です。市内 15 か所の助産所等で実施します。

事業番号 24 生活衛生サポート事業		決 算 額
		予算 (733,000 円) 決算 (711,545 円) 差引 (21,455 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号7 市民の健康づくりと安心確保	
食品・環境衛生に関する最新の情報提供・啓発や、犬猫の適正飼育啓発やねずみ駆除の支援などを行い、区民が安全・安心に快適な生活が送れるようサポートします。		
1 食品衛生関係事業 高齢者施設、病院など重点対象施設への立入指導による食中毒の発生防止や、食品提供を行うボランティアや、地域行事の従事者などへの助言や啓発による活動支援を行いました。		
2 環境衛生関係事業 ねずみ及び衛生害虫などによる健康被害防止啓発や、駆除相談、駆除機材の貸出などを行いました。		
3 人と動物の共生推進事業 (1) 犬猫の適正飼育および災害時のペット対策の啓発 ア ペット飼主向けの啓発 イ 災害時のペット対策の啓発 (再掲) 6 ページ (2) 飼い主のいない猫対策事業 超音波式ねこ被害軽減機の貸し出しや、地域が取り組む飼い主のいない猫対策への支援を行いました。		

事業番号 25 青少年健全育成事業		決 算 額 予算 (1,280,000 円) 決算 (1,064,020 円) 差引 (215,980 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり 政策番号3 困難な状況にある子ども・家庭への支援	
青少年の健全育成を図る団体を支援し、健全育成を推進しました。また、地域社会において青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、地域の輪を広げる取組を実施しました。 1 青少年交流活動推進事業 (1) 鶴見区子どもサマーキャンプ事業 小学生の自然体験活動の機会の充実と異年齢交流の促進のため、主催の鶴見区子ども育成会連絡協議会に対し補助金を交付しました。また、本事業を通じて、中高生からなる鶴見区ジュニアリーダーズクラブの育成を支援しました。 実 施：8月8日（金）～9日（土） 参加人数：62人（運営側も含む） (2) 青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校及び区内企業と連携し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と中・高校生との異年齢間交流により、ともに育ち合う機会を創りました。 実 施：8月6日（水） 参加人数：20人（小学生）、10人（中高生） 連携企業：森永製菓株式会社（協力） テーマ：チョコレート科学する～おいしさのひみつ～ (3) 区内企業との公民連携による青少年育成【拡充】 区内各企業及び学校との公民連携により、青少年が様々な社会体験をする機会を提供し、社会全体で子どもの成長を支えること、子どもの内在する力を引き出すことにつなげました。 ア 鶴見区・神奈川区の工場で『モノづくり』を親子で学ぼう！ 実施：7月25日（金） 参加人数：23人 連携企業：日産自動車株式会社横浜工場、キリンビール株式会社横浜工場（主催）  日産自動車株式会社横浜工場の見学  森永製菓株式会社でのモノづくり教室		

イ 小学校の授業時間を活用した学習機会の提供
区内企業との連携の下、授業時間を活用し、小学生が自ら課題を立て、学習発表する機会を支援することで、多面的な能力の向上を図りました。

参加人数：244人

連携企業：森永製菓株式会社ほか7企業

連携団体：横浜・鶴見沖縄県人会ほか3企業

2 青少年の居場所運営支援事業

地域・団体等による青少年の居場所運営の取組に対し、補助金を交付しました。

対 象：4事業

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】よこはま東部ユースプラザの運営補助（こども青少年局）

地域において不登校やひきこもり状態などにある青少年（15歳～39歳）の自立を支援する「地域ユースプラザ」の運営費を補助しました。

【局事業】ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談（こども青少年局）

青少年相談センター所管の補助事業として、鶴見区では東部ユースプラザの地域連携相談員が、毎月2回（第2・第4の水曜日午後）、区役所で相談支援を行いました。支援対象者は横浜市在住で、ひきこもり等の困難を抱える若者15歳から39歳の方とその家族です。

【再配当事業】寄り添い型生活支援事業（こども青少年局）

◇つるみ元気塾

生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対して、自信・達成感・肯定感をもたせ、円滑な学校生活を送るための支援・生活体験・総合的な支援を行う支援施設「つるみ元気塾」を運営し、必要な支援等を行いました。

【再配当事業】寄り添い型学習支援事業（健康福祉局）

◇つるみ未来塾（中学生対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある子どもたちの将来の自立に向けた基盤づくりのため、中学1～3年生を対象に高等学校等への進学に向けた学習支援を行いました。

◇つるみプラス（高校生世代対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業を行いました。また、高校生世代（概ね15歳から18歳）の子どもを対象に、社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業を行いました。

事業番号 26 つるみクリーンタウン事業		決 算 額 予算 (4,497,000 円) 決算 (3,961,522 円) 差引 (535,478 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略3 Zero Carbon Yokohama の実現 政策番号 19 持続可能な資源循環の推進	
3 R 活動、特にプラスチック対策や食品ロス削減等を通じて脱炭素社会を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に実施しました。 1 3 R 推進事業 分別ルールやプラスチック対策、食品ロス削減について普及、啓発を進めました。 (1) 区民向けイベントでの 3 R 啓発 ア 三ツ池公園フェスティバル(5月17日(土)) ◆荒天のため中止 イ プラごみ削減キャンペーン(6月14日(土)) イオン駒岡店) ウ つるみちゅうらうみ エコフェスタ 2025(10月4日(土)) エ つるみ臨海フェスティバル(10月18日(土)) オ つるみ夢ひろば in 總持寺(10月26日(日)) (2) 食品ロス削減に向けた普及啓発活動 区役所常設の食品回収箱をはじめ、フードドライブ活動を実施・支援しました。 区役所：584 点 (276.3kg) 自治会等：145 点 (49.2kg) (3) 保育園等での環境学習 子どもたちの意識を高めるため、保育園・小学校を対象に出前講座を行いました。 実施：保育園及び幼稚園 21 園、小学校 4 校、高校 2 校 (4) 生ごみ堆肥化の普及啓発 生ごみを活用した土づくり(土壌混合法)の普及に向けて、公共施設等での講習会を行いました。 実施：鶴見小学校 9月10日(水) 区民向け講座 8～10月(3回) (5) 外国人居住者向け分別啓発 外国人居住者にあわせた広報啓発を、資源循環局鶴見事務所や国際交流ラウンジ等と連携し実施しました。 実施：潮田交流プラザ 秋祭り(9月21日(日)) 多文化共生フェスタ 2025(9月27日(土)) 2 鶴見区クリーンアップ事業 地域清掃の支援、不法投棄防止に向けた啓発を実施しました。 (1) 鶴見クリーンキャンペーン 地域の各団体へごみ袋や軍手を配布し、清掃活動を支援しました。 実施回数：年2回 (2) まちかど花壇事業【拡充】 不法投棄防止を目的に実施してきた地域の花壇整備支援を拡充し、横浜グリーンエキスポの機運醸成につなげました。 実 施：春・秋(年2回)		

(3) 喫煙マナー啓発

ポイ捨て防止や歩きタバコ防止のため、喫煙禁止区域を中心にマナー啓発を鶴見駅周辺で行いました。

実施：ポイ捨て喫煙マナー啓発（3月4日（水））

3 道路ふれあい月間関連事業

鶴見駅周辺地域で一斉清掃を実施し、道路の重要性を再認識してもらい、道路の正しい利用の啓発を図りました。

実施：11月12日（水）

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】不法投棄防止対策事業（資源循環局）

不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行いました。

施策実現に向けた行政運営

事業番号 27 鶴見区広報・広聴事業	決 算 額 予算 (3,140,000 円) 決算 (2,694,023 円) 差引 (445,977 円)
あらゆる年代や国籍等の区民に対し、必要な情報が的確に届くよう各種媒体を活用し、多角的な広報事業を展開しました。 また、区民ニーズや地域の課題を把握し、区政運営に反映させることを目的に、広聴事業を展開しました。 1 広報・広聴事業 (1) 区ウェブサイト等その他広報事業 ・多言語対応の広報誌閲覧サービスアプリによる発信 ・SNS、区ウェブサイトによる区政情報の発信 ・鶴見区のマスコットキャラクター『ワックン』の活用による区のPR (2) 広聴事業 「市民の声」事業に基づき、区民や地域の意見を収集しました。 広聴受付件数〔令和7年度：572通〕 2 生活・防災マップ等発行事業 (1) つるみ生活・防災マップ 発行：1・3月 部数：14,000部 (2) 鶴見区バスマップ 発行：3月 部数：9,000部 3 鶴見区シティプロモーション推進事業 区内各課の情報発信を充実させるため、「鶴見区シティプロモーション力向上に関する取組」に基づき、広報スキルを高める研修等を行い、職員のPR力向上を図りました。 《令和7年度実績》 ・「ゼロからはじめる広報」研修 実施:5月21日(水) 参加者:17人 ・政策経営局連携・デザイン基礎研修 実施:11月19日(水) 参加者:10人	

事業番号 28 鶴見区人材育成推進事業		決 算 額 予算 (1,165,000 円) 決算 (1,535,610 円) 差引 (△370,610 円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号 11 多文化共生の推進	

全職員が鶴見区に対する愛着を持ち“チーム鶴見”の一員としてより一層意欲・能力を発揮できるよう人材育成に取り組むとともに、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識しうよう人権啓発に取り組みました。

1 人材育成推進

人材育成や人権啓発、職員企画・提案型など様々な研修を通して、職員として必要なスキルの習得や意識改革を進めました。

(1) 人権啓発研修（責任職グループ研修、職員向け研修）

職業差別・と場、こどもの人権、外国人の人権、インターネットによる人権侵害、性的少数者の人権などをテーマに実施（6月～2月）

(2) 職員企画・提案型研修

職員の企画・提案により、戸籍・税務に関する知識の習得や鶴見区の歴史への理解を深めることを目的とした研修を実施（11月～2月）

(3) 改革推進委員会

「笑顔でつながる職員ネットワーク」「いきいき働ける環境づくり」をテーマに活動を行い、職員間の連携強化と働きやすい職場環境づくりを推進（7月～3月）

2 人権啓発

区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催しました。

実 施：12月

会 場：鶴見区民文化センターサルビアホール

テーマ・講師：「テレビ災害報道の裏側と人権」笠井 信輔氏

参加者：457人（会場 257人、オンライン視聴 200人）

※参加者アンケートの結果、人権意識が向上したと回答した人の割合は97%

（アンケート回収数 197件）

事業番号 29 区役所サービス向上事業	決 算 額
	予算 (13,352,000 円)
	決算 (13,297,447 円)
	差引 (54,553 円)
区民の多様なニーズに的確に対応できるよう、区役所環境の整備を図り、区民が利用しやすい区役所の実現を目指します。 1 魅力ある区役所づくり 区民サービスの向上及び区役所環境の整備を図るため、区庁舎に P H S システムを構築し、電話の混線を解消しました。また、夏季期間の冷風機設置による暑さ対策を行いました。 2 一時託児サービス 乳幼児を伴って区役所を利用される方の利便性を向上するため、区役所 1 階の託児施設（キッズランド）において、月・水・木曜日の 8 時 50 分から 16 時 10 分（12 時から 13 時までを除く）まで、託児サービスを実施しました。（託児数年間実績：386 人） 3 I C T の活用促進 オンライン会議システムやサーバーの維持・管理、庁内のペーパーレス化など I C T 環境の整備・保全による区民サービスの向上や業務効率化を図りました。	

鶴見区に関連する主な局事業

① 鉄道利便性強化の検討

(道路・交通政策局)

区内の鉄道利便性を高めるため、相鉄・JR 直通線の鶴見駅停車や公共交通ネットワークの利便性・安全性向上等について、関係者・地域と共に中長期的に取り組みました。

② (仮称) 豊岡町複合施設再編整備事業

(教育委員会事務局)

豊岡小学校建替えをきっかけに、鶴見図書館、鶴見保育園等と複合化し再編整備していきます。令和 7 年度は、PFI 事業の事業者公募の手続きを行いました。

③ 横浜市東部斎場の整備

(健康福祉局)

新たな斎場を大黒町に、令和 9 年 3 月中の開所を目指して整備していきます。
令和 7 年度は建物本体工事及び設備工事等を進めました。

④ 末吉橋架替事業

(道路・交通政策局)

令和 7 年度は、河川内に設置する橋脚の構築や橋桁の製作を進めました。令和 10 年度の完成を目標に、引き続き架け替え工事を進めていきます。

⑤ 踏切の安全対策

(道路・交通政策局)

生見尾踏切など歩行者の安全な通行に課題のある踏切について、安全対策を進めました。

⑥ 小学校の建替え

(教育委員会事務局)

矢向小学校は建替えの工事を進めました。上末吉小学校は設計を進めました。

⑦ 緑地・公園等の整備

(みどり環境局、下水道河川局)

二ツ池公園は、護岸の改修工事を行い、獅子ヶ谷池側の広場の整備の設計を進めました。東寺尾六丁目の古民家等は、歴史的建造物である古民家を生かした公園整備計画の検討を進めました。入江川遊水池の上部利用に向けた調査・検討を進めました。

⑧ 新たな地域交通の導入

(道路・交通政策局)

令和 7 年度は、馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区「のるーと TSURUMI」の実証運行を開始しました。また、岸谷地区では、新たな地域交通の導入に向けた取組を進めました。

令和 8 年 第 3 回

区づくり推進横浜市会議員会議

議 題 2

令和8年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
自主企画事業費の執行状況について

議題2 目次

	ページ
1 地域力の強化	
1 防災活動推進事業【重点】	55
2 放置自転車対策事業	60
3 交通安全推進事業	61
4 鶴見区防犯活動支援事業	62
5 自治会町内会振興事業	63
6 地域のちから応援事業	64
7 鶴見・あいねっと推進事業	65
8 「広げよう見守りの輪」推進事業	66
2 区内経済・活力の向上	
9 鶴見区魅力づくり事業	67
10 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	68
11 商店街魅力発信事業	72
12 鶴見区民まつり支援事業	73
13 鶴見区制100周年記念事業【重点】	74
14 鶴見区環境行動推進事業【重点】	76
15 地域文化・区民活動推進事業	78
16 区民スポーツ振興事業	80
3 子どもから大人まで安心・元気に	
17 ヘルスアッププラン	81
18 感染症対策事業	83
19 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	84
20 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業	87
21 つるみDE子育て応援事業	89
22 つるみの未来を育てる保育所事業【重点】	91
23 鶴見区虐待予防事業	93
24 生活衛生サポート事業	95
25 青少年健全育成事業	96
26 つるみクリーンタウン事業	99
《施策実現に向けた行政運営》	
27 鶴見区広報・広聴事業	100
28 鶴見区人材育成推進事業	101
29 区役所サービス向上事業	102
鶴見区に関連する主な局事業	103

自主企画事業の概要

施策1 地域力の強化

事業番号 1 防災活動推進事業【重点】		予 算 額
		R 8 (15,371 千円) R 7 (15,149 千円) 差引 (222 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 2 防災・減災 施策群 03 地震防災対策	
地震、風水害及び都市災害等に備え、地域における自助・共助の取組推進や、地域防災拠点及び区本部機能の強化・維持について、関係機関等と連携を図りながら、地域防災力の向上を図ります。 1 自助・共助推進事業 地域の防災イベント・研修会等の機会を捉えた防災啓発を実施するほか、地域における共助のための自主的な取組に対して補助金を交付します。 (1) 防災講座等による啓発活動 自治会町内会や学校、関係機関等と連携し、様々な区民の方によりきめ細やかな防災講座を実施します。防災講座を通じて、災害への備えを伝えるとともに在宅避難のさらなる啓発を行い、地域全体の防災意識を高め、発災時のリスク低減を促進します。 ア 出前防災講座 自治会町内会館や防災訓練会場等において、地区ごとの災害リスクや、個人・地域が取り組める日頃からの準備・被害軽減策について、こどもから高齢者まで幅広い世代を対象とした出前講座を行います（延20回程度）。 イ 小学校高学年向け防災講座（つるみっこ防災塾） 若年層の防災意識の向上のため、わかりやすい動画・教材の活用やまち歩きなどをしながら、小学校の授業として防災講座を行います（8回程度）。 ウ 中学生への防災講座 若年層の防災意識の向上と防災の担い手育成のため、中学校の授業として防災講座を行います（8回程度）。		
  		
小学生高学年向け防災講座		教材
		中学生への防災講座

エ 子育て世帯への防災啓発

妊産婦や子育て世帯の防災意識の向上のため、妊婦には母子健康手帳交付や両親教室の実施時に「親子のための防災ハンドブック」を、また、こんにちは赤ちゃん訪問事業で4か月までの赤ちゃんのいる家庭に訪問する際に「つるみ生活・防災マップ」等を配布し、啓発を行います。

オ 外国人向け防災啓発

国際交流ラウンジと連携しながら、やさしい日本語版のつるみ生活・防災マップなどを活用し、外国人向けの防災講座を行います。

【関連する自主企画事業】

<多文化のまち・つるみ推進事業【重点】>

3 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

(2) 各種教室の実施

オ 防災啓発活動の実施

外国人を対象とした防災講座等の啓発活動の実施。

実施：2回程度 参加者：延 50 人



外国人向け防災講座

<鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業>

2 障害理解の推進

地域のイベントへの参加や地域防災拠点訓練等での啓発、障害者週間に合わせたキャンペーン等を行い、区民の障害理解の促進を図ります。

(2) 地域防災拠点訓練等での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練等でのミニ講座の実施や障害理解啓発動画の活用を通じて、必要な配慮に関する啓発を行います。



障害啓発ミニ講座



障害理解啓発動画

＜生活衛生サポート事業＞

3 人と動物の共生推進事業

(1) 犬猫の適正飼育および災害時のペット対策の啓発

イ 災害時のペット対策の啓発

(ア) ペットと暮らす方に向けたペット防災セミナー

実施：10月17日（土）、11月14日（土）（年2回）

(イ) 「鶴見区災害時ペット対策ネットワーク」の活動支援

ペット防災セミナー実施（共催）：7月25日（土）、20人

(ウ) 地域防災拠点訓練等における災害時のペット対策の啓発



ネットワークと共催のペット防災
セミナーの様子



全地域防災拠点に備蓄されている
「ペット飼育場所開設キット」

(2) 「まるとまちごとハザードマップ」における啓発活動

地域ごとの浸水リスクや避難場所をひと目で認識できるよう、電柱等に掲示した「まるとまちごとハザードマップ」について、より見やすい標示に更新を行います。

(3) 地域防災拠点の運営力強化

地域防災の要である地域防災拠点について、資機材の点検・修繕を行うとともに、拠点の開設運営訓練を支援します。また、拠点を担当する責任職（防災参与）等の研修を行います。

ア 地域防災拠点参与研修：4月

イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月

ウ 全地域防災拠点での開設運営訓練：8～2月（31拠点）

(4) 共助のための防災活動支援事業

地域防災力向上を目的として、共助のための自主的な活動に対し、補助金による支援を行います。

(5) 鶴見川防災対策事業

鶴見区水防協議会における風水害の啓発活動支援や、鶴見川の防災機能整備促進・強化に向けた国への働きかけを行います。

(6) つるみ生活・防災マップ

「つるみ生活・防災マップ」について、転入された方等への区役所窓口や公共施設等での配布、区ホームページへの掲載を行います。また、外国人向けには、やさしい日本語版「つるみ生活・防災マップ」を配布し、区ホームページには多言語版も掲載します。

2 区本部機能等強化事業

実災害に対応するため、区本部機能と補充的避難所の機能強化を図ります。

(1) 災害対応力及び区本部機能の強化

ア 災害対策本部の開設運営訓練等の実施

職員防災研修：10月

区本部訓練：9、1月

イ 災害対応に必要な区本部用資機材の購入

(2) 補充的避難所の機能強化【拡充】

ア 開設運営訓練・情報受伝達訓練：10月～

イ 補充的避難所用の必要資機材の購入

通信機器を購入して確実な情報受伝達の手段の確保として IP 無線機を購入しました。



職員防災研修の様子



補充的避難所 情報受伝達訓練の様子

3 災害時医療体制推進事業

迅速かつ適切な応急対応措置を講じるため、平時から関係機関・団体の連携・協力体制を構築します。

(1) 区内医療機関等との通信訓練

区役所（医療調整班本部）と区内医療機関、市医療局との間で、MCA無線及び地域BWAによる通信訓練を実施します。

実施：毎月（奇数月：区→区内医療機関等、偶数月：区→市医療局）

※MCA無線：運輸・物流業務、バス運行業務、タクシー等で広く利用されている資格不要のデジタル簡易無線。

※地域BWA（広帯域移動無線システム Broadband Wireless Access）：

横浜市専用の周波数帯であり、他の通信状態の影響を受けず、通信の輻輳を受けにくいいため、災害時にも安定して通信ができる

(2) 鶴見区災害医療連絡会議

行政と関係機関・団体の情報共有や意見交換を図ります。

開催：年2回程度（第1回：8月7日（金）、第2回：3月頃予定）

構成員：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、済生会横浜市東部病院、汐田総合病院、佐々木病院、平和病院、鶴見大学、鶴見警察署、鶴見消防署、鶴見区社会福祉協議会、鶴見区役所

(3) 鶴見区災害医療訓練

鶴見区災害医療連絡会議の関係団体と災害医療訓練を実施します。

内 容：①医療機関及び関係団体との連携訓練

②のぼり旗掲出訓練

参加者：①災害拠点病院（済生会横浜市東部病院）、災害時救急病院（汐田総合病院、片山整形外科記念病院、佐々木病院、鶴見西井病院、生麦病院、平和病院、森山病院、横浜石心会病院）、医療救護隊参集拠点（汐田総合病院、鶴見区休日急患診療所、平和病院）、鶴見区役所 など

②区内災害拠点病院、災害時救急病院、診療所（医科、歯科）、薬局



①災害医療訓練



②のぼり旗掲出訓練

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】 地域防災力向上事業（総務局）	自治会・町内会等により組織されている「町の防災組織」や地域防災拠点運営委員会に補助金を交付し、各団体が実施する研修・広報・訓練などの自主防災活動を支援します。
【統合事業】 緊急時情報システム運用事業	災害等に関する緊急情報を、電話を利用して区から直接、地域の防災組織の長（自治会町内会長）等に対して発信し、あわせて双方向機能を活用して受信状況を確認するシステムを運用します。
【再配当事業】 母親（両親）教室事業（こども青少年局）	母親（両親）教室で助産師が妊産婦に対して災害時の備蓄等の周知を行っています。
妊産婦・乳幼児にかかる災害対策事業（こども青少年局）	災害時に母子が安心・安全に避難行動をとれるよう、当事者や地域防災拠点の運営に携わる方等に向けた広報・啓発を行います。

事業番号 2		予 算 額
放置自転車対策事業		R 8 (3,815 千円)
		R 7 (4,691 千円)
		差引 (△876 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 1 毎日の安心・安全 施策群 1 防犯、歩行者の安全・安心	
駅周辺において、安全で安心なまちづくりができるように、自転車等放置防止推進協議会の円滑な活動を支援するとともに、放置台数の多い箇所を中心に放置自転車対策を継続して行います。		
1 放置禁止区域内重点対策 放置禁止区域のうち特に放置自転車の多い J R 鶴見駅・京急鶴見駅を中心に、駐輪場の利用促進や放置禁止の呼びかけを行う監視員を配置（夕方から夜間）し、放置防止対策を実施します。		
2 自転車等放置防止推進協議会への支援 各駅協議会の啓発活動を支援します。 対 象：7 駅（J R 鶴見駅・京急鶴見駅・生麦駅・鶴見市場駅・矢向駅・尻手駅・花月総持寺駅（6 月から放置禁止区域に指定）） 補助金交付：7 月		
■■ 関連する事業 ■■		
【局事業】 放置自転車等移動・撤去業務 （道路・交通政策局）	J R 鶴見駅・京急鶴見駅周辺を重点とし、区内 7 駅周辺の自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等の移動・撤去を行います。	
【局事業】 自転車等放置防止監視員業務委託（昼間）（道路・交通政策局）	区内 7 駅周辺の自転車等放置禁止区域内の自転車利用者に対して指導を行います。	

事業番号 3 交通安全推進事業		予 算 額
		R 8 (2,189 千円) R 7 (1,909 千円) 差引 (280 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 1 毎日の安心・安全 施策群 1 防犯、歩行者の安全・安心	
安全で安心なまちづくりに向け、交通安全の普及啓発活動を推進するとともに、交通事故防止の対策を進めます。 1 交通安全啓発事業 (1) 交通安全運動 各季全国安全事業や、小学校・保育園の新入学・入園、自転車マナーアップなど強化月間の機会にあわせて、交通安全運動を実施します。また、川崎市幸区役所、幸警察署および鶴見警察署と連携し、矢向駅周辺にて自転車マナーの啓発活動を実施します。 (2) 区交通安全対策協議会の運営 ア 幹事会・区自治連合会交通部連絡協議会、総会の実施 イ 交通安全功労者表彰 区内における交通安全と事故防止及び啓発に貢献した人・団体を表彰します。 (3) 交通安全講習会 区内小学校などで、はまっ子交通安全教室やチリリンスクール（自転車乗り方教室）を実施します。また、青切符制度の導入を踏まえ、制度の内容や交通ルールについて理解を深めてもらうため、企業・団体、自治会町内会を対象に、自転車事故防止のための安全講習を行います。 (4) 新入学児童向けランドセルカバーの配布 鶴見交通安全協会と協力して、鶴見区マスコットキャラクター“ワックン”のほか、鶴見区制 100 周年をデザインしたランドセルカバーを製作し、新入学児童に配布します。交通安全意識の向上を図るとともに、鶴見区制 100 周年の機運醸成につなげます。 2 学校への支援 区内小学校 22 校に設置しているスクールゾーン対策協議会を支援します。 また、通学路の安全を確保するために、土木事務所、警察署と協議・連携しながら、通学路の点検を実施し、路面表示等の新設・補修・撤去を行います。 ■■ 関連する事業 ■■ 【再配当事業】 スケアードストレイト※方式による交通安全教室の実施委託（道路・交通政策局） スタントマンが事故の再現を行い、自転車利用時のマナー向上を図る交通安全教室を実施委託します。 ※スケアードストレイト：交通事故を再現することで、事故につながる危険行為を未然に防ぐ教育		



交通安全啓発（矢向駅）

事業番号 4 鶴見区防犯活動支援事業		予 算 額 R 8 (1,732 千円) R 7 (1,985 千円) 差引 (△253 千円)				
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 1 毎日の安心・安全 施策群 1 防犯、歩行者の安全・安心					
地域防犯力の向上のため、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援します。 1 防犯啓発活動 (1) 地域防犯リーダー研修会 自治会町内会の防犯部等を対象に地域の防犯リーダーの研修会を開催します。 (2) 犯罪発生情報の提供 メーリングリスト登録者(区民)向けに犯罪発生情報を提供します。 (3) 特殊詐欺の注意喚起 警察や関係機関と連携しながら、区民への注意喚起を実施します。 2 子ども防犯活動支援事業 (1) 保育園児に対する子ども防犯教室の開催 (2) 「子ども 110 番の家」のプレートの提供 (3) 児童下校時見守り活動 3 地域防犯活動支援事業 地域の自主防犯活動や犯罪発生防止の支援を行います。 (1) 防犯パトロール 児童の見守り及び特殊詐欺の発生抑止を目的とした防犯パトロールを実施します。また、自治会町内会などの自主防犯活動を支援するため、防犯パトロール活動に必要な物品を提供します。 (2) 迷惑電話防止機器の貸与 特殊詐欺対策のため、鶴見警察署・鶴見区自治連合会・鶴見区防犯協会と連携し、区内の高齢者世帯に迷惑電話防止機器を貸与します。 ■■ 関連する事業 ■■ <table><tr><td> 【局事業】 地域防犯灯設置事業（市民局） </td><td>自治会町内会からの申請に基づき、多くの地域住民が通行する道路を照らす地域防犯灯を設置します。</td></tr><tr><td> 【局事業】 地域防犯カメラ設置補助金（市民局） </td><td>自治会町内会が、地域における犯罪の防止を目的として道路や公園等の公共空間を撮影し記録するために設置する防犯カメラの購入・設置費用の補助を行います。</td></tr></table>			【局事業】 地域防犯灯設置事業（市民局）	自治会町内会からの申請に基づき、多くの地域住民が通行する道路を照らす地域防犯灯を設置します。	【局事業】 地域防犯カメラ設置補助金（市民局）	自治会町内会が、地域における犯罪の防止を目的として道路や公園等の公共空間を撮影し記録するために設置する防犯カメラの購入・設置費用の補助を行います。
【局事業】 地域防犯灯設置事業（市民局）	自治会町内会からの申請に基づき、多くの地域住民が通行する道路を照らす地域防犯灯を設置します。					
【局事業】 地域防犯カメラ設置補助金（市民局）	自治会町内会が、地域における犯罪の防止を目的として道路や公園等の公共空間を撮影し記録するために設置する防犯カメラの購入・設置費用の補助を行います。					

事業番号 5 自治会町内会振興事業		予 算 額 R 8 (3,960 千円) R 7 (3,995 千円) 差引 (△ 35 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 8 暮らし・コミュニティ 施策群 16 地域の生活環境	
地域活動の振興等に関連する行政や団体からの情報提供や、自治会町内会の活動支援を行います。		
1 地域振興連絡事業 区自治連合会の定例会後、自治会町内会に行政・団体からの情報や依頼事項等の資料配布を行います。 実 施：毎月（8月を除く）		
2 地域活動支援事業 自治会町内会の地域課題である加入促進や魅力アップ、負担軽減等に向け、アドバイザー派遣や、ICT化補助などの支援を行います。		
3 自治会町内会長感謝会 自治会町内会長永年在職者に対して感謝状や記念品を贈呈します。 実 施：2月 感謝状対象：自治会町内会長5年 記念品対象：自治会町内会長5年毎、地区連合町内会長10年毎		
■■ 関連する事業 ■■		
【再配当事業】 地域活動推進費（市民局）		自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。また、市政及び区政に対する協力活動に対する謝礼として、地区連合町内会長に報償費を交付します。
【再配当事業】 自治会町内会館整備助成事業（市民局）		自治会町内会が行う自治会・町内会館の整備に関する費用に対して、その一部を助成します。

事業番号 6 地域のちから応援事業		予 算 額
		R 8 (1,900 千円) R 7 (2,250 千円) 差引 (△350 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 8 暮らし・コミュニティ 施策群 16 地域の生活環境	

持続可能なまちづくりを進めるために区民や企業・団体が主体的に活動できるよう、講座等の実施、ノウハウの提供、交流機会の創出などを通じて支援し、地域のつながりと協働を促進します。

1 鶴見・まちづくりゼミナール

地域課題の解決に向けて新たな活動を始めようとする住民や団体を支援するために「鶴見・まちづくりゼミナール」(令和7年度より「つるみ MACHI 塾」と連携開催)を開催します。地域づくりに必要な知識や実践の機会を提供し、参加者同士の連携を促進することで、将来的な担い手育成や地域の活性化を図ります。

2 地元企業と地域をつなぐ連携セミナー

多くの企業や工場が集積する鶴見区の特徴を活かし、地域の課題を企業と地域が協力して考え、解決するための新しいつながりを築くことを目的に、地域と企業をつなぐセミナー等を開催します。企業と地域が直接交流し、協働の取組を生み出すきっかけを提供することで、鶴見の活性化、持続可能な地域連携の促進を目指します。

3 地域の課題解決サポート事業

複雑化・多様化する地域社会の課題解決に、地域が主体的・継続的に取り組めるようにするため、自治会町内会活動を支援するとともに地区の好事例を区内で展開ができるよう事業を実施します。

事業番号 7		予 算 額
鶴見・あいねっと推進事業		R 8 (2,205 千円)
		R 7 (3,545 千円)
		差引 (△1,340 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 8 暮らし・コミュニティ 施策群 16 地域の生活環境	
鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）に基づき、地域やボランティア団体等との協働により福祉保健を中心とした様々な地域課題の解決に取り組みます。		
1 第5期区計画の推進		
令和8年度から12年度までを計画期間とする第5期計画について推進を図ります。		
(1) 地区別計画の推進		
地域と地区別支援チームの協働により、第5期地区別計画を推進し、地域福祉保健活動の充実を図ります。		
＜地区別支援チーム＞		
連合町内会ごとの地区別計画推進の支援を行う、リーダー・サブリーダーとなる区責任職のほか、区福祉保健センターの専門職・区社協職員・地域ケアプラザ職員等で構成するチーム。		
〔 地区別支援チームにおける地区懇談会・イベント等参加状況 〕		
会 場：区内地域ケアプラザほか		
参加者：延約4,000人		
(2) 鶴見・あいねっと推進委員会		
区内福祉関係者等からなる推進委員会を開催します。		
推進委員会：7月3日（金）、1月		
2 鶴見・あいねっと推進フォーラムの開催		
区計画の周知及び福祉保健活動への参加者を広げる目的で開催します。		
実 施：2月		
会 場：鶴見公会堂		
参加者：約300人		

事業番号 8 「広げよう見守りの輪」推進事業	予 算 額
	R 8 (1,491 千円)
	R 7 (1,266 千円)
	差引 (225 千円)

横浜市中期計画 2026-2029	政策群 6 高齢・長寿 施策群 14 高齢者支援
----------------------	-----------------------------

ひとり暮らし高齢者や障害者など支援を必要とする人に対し、日常的な見守りや訪問活動を充実させることにより、顔の見える関係づくりを進め、緊急時・災害時に地域で支えあう見守り体制の強化・促進を図ります。

1 定期訪問・見守り活動支援

民生委員に救急医療情報キット及び高齢者連絡票を配布し、緊急時の迅速な対応に役立てます。

また、熱中症や事故予防等の保健に関するチラシを配布するなど、民生委員が行う訪問・見守り活動の一助となる取組を充実させていきます。

2 高齢者・障害者への災害時支援の仕組みづくり

災害発生時に自助・共助が行われる地域を目指し、民生委員・児童委員、自治会・町内会に対して、地域の支援者と高齢者・障害者の関係づくりを促すための携帯トイレパックや訪問用メモを配布します。

<支援対象者名簿の提供>

令和8年9月1日

	自治会・町内会数	対象者数	名簿 登載者数	名簿 登載率
合計	126	10,814 人	8,610 人	約 79.6%
同意方式	18	1,976 人	1,095 人	約 55.4%
情報共有方式	108	8,838 人	7,515 人	約 85.0%

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】 ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局）	80 歳以上ひとり暮らし高齢者等の名簿を、区役所から民生委員と地域包括支援センターに提供し、3 者で共有して必要な支援につなげます。区内全地区で、名簿をもとに民生委員が各戸訪問等を実施します。
--	--

施策 2 区内経済・活力の向上

事業番号 9 鶴見区魅力づくり事業		予 算 額
		R 8 (5,320 千円)
		R 7 (5,320 千円)
		差引 (0 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 10 にぎわい・スポーツ・文化 施策群 21 観光・MICE	
2027 年に迎える鶴見区制 100 周年を見据え、区内の企業や大学、団体等とのつながりを生かした公民連携による誘客企画・取組等を実施するとともに、区内外へ鶴見区の魅力を発信します。 1 地域や団体、企業等との協働によるイベントの実施 (1) 「鶴見ウチナー祭」の共催 実 施：10 月 31 日（土）、11 月 1 日（日） 会 場：入船公園 内 容：飲食ブース、体験型ブース、ステージ 等 (2) 鉄道事業者との連携事業 実 施：10～12 月 場 所：鶴見区内各所 内 容：誘客促進に係る企画（スタンプラリー等） 2 魅力発信 「沖縄タウン鶴見マップ」等、区内の見どころスポットやイベント等を紹介する媒体を通じ、各企画の対象に応じた効果的な魅力発信に取り組みます。		

事業番号 10		予 算 額
多文化のまち・つるみ推進事業【重点】		R 8 (16,828 千円)
		R 7 (15,912 千円)
		差引 (916 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 8 暮らし・コミュニティ 施策群 18 多文化共生	
令和6年度に策定した鶴見区多文化共生基本指針に基づき、地域、事業者や団体と連携して、外国人向けの生活情報の発信や相談対応を充実させるとともに、外国人も日本人も相互に理解し、だれもが暮らしやすいまちづくりにつなげるための啓発・働きかけを行います。 1 多言語対応事業（翻訳・通訳） 区役所における多言語での情報提供の充実及び窓口サービスの向上に取り組みます。 (1)資料の一括翻訳 庁内各課において作成する資料等の多言語翻訳について、ニーズを取りまとめ、一括翻訳契約を実施 (2)タブレット端末による多言語対応 複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを実施 対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語及びポルトガル語等 設置台数：9台 ※経費の一部は市民局予算を活用。  多言語翻訳機の運用  タブレットでの翻訳(イメージ) 2 多文化共生の生活情報発信・啓発事業 Web等を通じて、外国人向けの生活情報や、外国人と日本人の相互理解・多文化共生の推進に向けた啓発動画等を発信します。また、職員向け研修の充実や、地域や関係機関等との連携及び情報共有の促進により、区全体での多文化共生への理解を深め、取組を進めていきます。 ◆職員向け研修 ・やさしい日本語研修 実施（参加者）：5月15日（金）19人 8月28日（金）予定 ・多文化共生研修：11月（予定） ◆区内の多文化共生支援機関同士の意見交換会 実施（参加者）：8月13日（木）11人 2月（予定）  多文化共生ネットワーク意見交換会		

3 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

外国人に対する相談対応や情報提供を行うとともに、区内の多文化共生を推進する取組を行います。

(1) 相談対応・情報提供

ア 9言語（英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、ヒンディー語、日本語）による相談対応

イ 「鶴見国際交流ラウンジニュース」の発信

発信回数：年3回程度 多言語化し、SNSとも連動させます。

ウ ホームページの運営

多言語での外国人向けの生活情報ページを運営します。

エ SNS（Facebook、Instagram、X等）を活用した情報発信

(2) 各種教室の実施

ア 外国籍の未就学児と保護者を対象とした暮らしのガイダンス

実施：6回程度 参加者：延90組

実施日：6月7日（日）、7月1日（水）

イ 学習支援教室【継続】

日本語指導を必要とする子どもたちを対象に、小学生クラスと中学生クラスを設置します。とりまとめを行う学習支援コーディネーターの増員や講師役を担うボランティアへの交通費の補填により、体制を充実させるとともに、鶴見大学等地域の教育機関や公共施設と連携したサテライト教室の実施を継続します。

実施：小学生 第1・3土曜日 参加者：延750人

中学生 毎週月曜日 参加者：延750人

ボランティア 延1,300人

サテライト教室 第2・4土曜日（原則） 参加者：延430人



鶴見大学での学習支援サテライト教室

ウ 外国人区民と日本人区民交流イベント

実施：6回程度 参加者：延200人

エ 地域人材育成講座

（ア）日本語サポーター入門講座（多文化共生の地域人材育成）

実施：9回程度 参加者：延200人

（イ）地域日本語教室ボランティア向けブラッシュアップ講座

実施：3回程度 参加者：延60人

オ 防災啓発活動の実施【再掲】

外国人を対象とした防災講座等の啓発活動の実施。

実施：2回程度 参加者：延50人

(3) 生活ガイダンス講座の開催【新規】

民間事業者ほか関係団体とも連携し、外国人を対象とした日本の文化や習慣、社会制度を理解してもらうためのガイダンス講座を開催します。

実施：6回程度 参加者：延 180 人程度

第1回実施日：5月26日（火）

テーマ：日本の生活マナー・文化、自転車交通ルール、ゴミ分別ルール

参加者数：24 人

第2回実施日：7月28日（火）

テーマ：救急、防犯

参加者数：32 人



第2回生活ガイダンス

(4) 保育園での多文化共生の取組【新規】

市立保育園にて、子ども達が多文化に触れられる機会を創出します。

ワークショップ開催：2回／年／1箇所 区内全4つの市立保育園にて計8回開催

(5) 情報発信拠点の設置・管理運営

外国人が日常的に利用する小中学校や保育園、店舗等で生活情報を気軽に入手できる「情報発信拠点」を運営します。

情報発信拠点数：59 か所 今年度 11 拠点追加（予定）

全 70 か所の情報発信拠点の内、主要拠点である郵便局の局長会で多文化共生講座を開催します。

【関連する自主企画事業】

＜つるみの未来を育てる保育所事業【重点】＞

1 保育所多文化共生事業【拡充】

(1) 保育・教育施設等の職員向け研修の実施

市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修を実施し、保育施設等職員や園児の外国文化の理解へ繋がります。

(2) 区制 100 周年に向けた多文化共生の取組【新規】【再掲】

市立保育所を中心に、多言語文化に触れられる本や遊び等を充実させ、多文化共生の取組を実施します。

あわせて区制 100 周年のロゴを活用したトートバックを作成し、地域や子どもたちへの本の貸出に活用して機運醸成に寄与します。

(3) 保育・教育施設等の施設長向けの研修等の実施

入所手続や入園後の生活をより円滑にしていくことを目的に、民間保育園施設長向けの研修等の取組を実施します。

＜つるみクリーンタウン事業（外国人住民への啓発）＞

1 3R推進事業

分別ルールやプラスチック対策、食品ロス削減について普及、啓発を進めます。

(5) 外国人居住者への啓発

外国人居住者向けに、これまで配架してきたごみや資源物の分別パンフレットに加えて、ごみ出しマナーやルールを分かりやすくお伝えするチラシを収集事務所と連携して作成し、より一層の啓発を進めていきます。

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】 ・外国人集住区の国際交流ラウンジの地域連携事業（市民局）	外国人集住区への地域課題解決・活躍促進専任スタッフの配置等を行います。
・横浜市市民通訳ボランティア派遣の調整（市民局）	・横浜市市民通訳ボランティア派遣の調整を国際交流ラウンジが行います。
・母語支援ボランティア活用事業・学校通訳ボランティア派遣の調整（教育委員会事務局）	・母語支援ボランティア及び学校通訳ボランティア派遣の調整を国際交流ラウンジが行います。
・初期日本語教室の実施（市民局文科省補助金事業）【新規】	・市民局が公益財団法人横浜市国際交流協会に委託して実施する初期日本語教室。国際交流ラウンジが実施協力を行います。

事業番号 11 商店街魅力発信事業		予 算 額 R 8 (2,336 千円) R 7 (2,336 千円) 差引 (0 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 11 産業 施策群 25 地域産業	
地域コミュニティの核である商店街が地域と連携しながら、商店街の魅力を発信することにより、商店街の振興と地域のにぎわい創出に結びつくよう支援します。 1 鶴見区商店街魅力発信支援事業 商店街と地域が連携した事業に補助金を交付し、支援します。 2 商店街にぎわい創出事業 区内の商店街を周るスタンプラリーイベントを実施することで来街を促し、商店街ににぎわいを創出します。		
■■ 関連する事業 ■■		
【再配当事業】 商店街活性化イベント助成事業（経済局）	商店街が行うイベントにかかる経費の一部を補助します。	
【局事業】 商店街環境整備支援事業（経済局）	商店街の行う街路灯や防犯カメラ、駐車場、舗道等のハード整備にかかる経費の一部を補助します。（新設・改修・撤去）	
【局事業】 安全・安心な商店街づくり事業（経済局）	商店街の街路灯の電気・ガス料金の一部を補助します。	

事業番号 12 鶴見区民まつり支援事業		予 算 額 R 8 (3,500 千円) R 7 (3,500 千円) 差引 (0 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 8 暮らし・コミュニティ 施策群 16 地域の生活環境	
子どもから高齢者まで幅広い年代の区民が鶴見への愛着を深め、地域とのつながりを感じられる機会とし、地域活性化を図るため、地域との共催による区民まつりを開催します。各区民まつりを通じて、地域と連携し、横浜グリーンエキスポや区制 100 周年等、本市事業の PR、浸透に取り組みます。		
1 三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル 区民が「文化・環境」と触れ合う機会をつくり、地域に対する興味・関心を高めてもらうことで、地域活性化へ繋がります。 実 施：5 月 16 日 (土) 会 場：県立三ツ池公園 参加者：56,000 人 内 容：模擬店、ステージ発表、リサイクル関連イベント、横浜グリーンエキスポ・区制 100 周年の PR 等		
2 つるみ臨海フェスティバル 区民が臨海部に親しむ機会をつくり、幅広い年代が気軽に参加できる場を設けることで、地域交流を推進します。 実 施：10 月 17 日 (土) 会 場：入船公園 内 容：模擬店、ステージ発表、スポーツ体験、横浜グリーンエキスポ・区制 100 周年の PR 等		

事業番号 13 鶴見区制 100 周年記念事業【重点】		予 算 額
		R 8 (2,850 千円)
		R 7 (1,000 千円)
		差引 (1,850 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 8 暮らし・コミュニティ 施策群 16 地域の生活環境	
令和 9 (2027) 年に鶴見区制 100 周年という大きな節目を迎えるにあたり、関係区局・団体等と緊密に連携し、地域の皆様から成る実行委員会を中心に、区で一体となって、イベントや広報等を展開し、機運醸成を図ります。 1 100 周年記念事業【拡充】 (1) 鶴見区制 100 周年記念事業実行委員会の運営 地域の皆様を中心とした実行委員会の事務局として運営を支援し、区で一体となって区制 100 周年記念事業を推進します。 (2) 記念事業の企画検討及び実施 実行委員会の皆様とともに、4 月から 12 月を「プレ・イヤー」、9 年 1 月から 12 月を「本番イヤー」として、100 周年に向けたイベントの実施・広報を行います。 ア 鶴見区制 100 周年プレ・イヤーイベント「伝えたい鶴見 これからの鶴見」 実 施：10 月 3 日 (土) 会 場：JR 鶴見駅東口駅前広場、サルビアホール 概 要：ポスターコンクール・ショートムービーコンテスト授賞式 100 周年の歩みを振り返る映像上映 シンポジウム 100 周年記念プレ・イヤーコンサート 野外ダンスライブや 100 周年記念ブースの出展など イ 鶴見区制 100 周年オープニングイベント 実 施：令和 9 年 1 月 会 場：JR 鶴見駅周辺ほか また、4 月から「鶴見区制 100 周年記念認定事業」を開始し、8 月から「共催事業」の募集も始めるなど、地域の催し等との連携を開始しています。		
 実行委員会		 プレ・イベントチラシ

2 周年ロゴを活用したデザインマンホールの設置【新規】

100 周年記念ロゴをあしらったデザインマンホールを設置し、鶴見区制 100 周年に向けて機運醸成を図ります。またこれを鶴見区の歴史を感じられるレガシーとして、区民の皆様の鶴見への愛着へ繋げます。

実 施：9 年 1 月から順次設置予定

場 所：JR 鶴見駅前、鶴見区役所周辺 等 計 20 か所（予定）



デザインマンホール



設置位置例（鶴見駅東口）

【関連する自主企画事業】

＜つるみの未来を育てる保育所事業【重点】＞

1 保育所多文化共生事業【拡充】

（2）区制 100 周年に向けた多文化共生の取組【新規】【再掲】

市立保育所を中心に、多言語文化に触れられる本や遊び等を充実させ、多文化共生の取組を実施します。

あわせて区制 100 周年のロゴを活用したトートバックを作成し、地域や子どもたちへの本の貸出に活用して機運醸成に寄与します。

事業番号 14		予 算 額
鶴見区環境行動推進事業【重点】		R 8 (2,400 千円)
		R 7 (2,400 千円)
		差引 (0 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 13 環境との共生 施策群 28 カーボンニュートラル	

地域や企業との連携のもと、横浜グリーンエキスポに向けた機運醸成や、プラスチックごみの分別・リサイクルの拡大等を契機とした脱炭素行動の普及啓発を推進します。

1 企業等と連携した脱炭素・環境保護等に関する啓発イベント

鶴見と沖縄とのつながりを活かし、海洋環境保護及び脱炭素の取組について楽しみながら学べるイベントを開催します。

イベント名：つるみ・ちゅらうみ サマースクール 2026

実施：8月8日（土）、9日（日）

参加者：延 3,750 人

会場：サルビアホールほか



アップサイクル商品を用いたワークショップ



海の専門家による小学生向け授業

2 脱炭素行動推進に向けた区民参加型企画

横浜グリーンエキスポの開催や、市が掲げる「YOKOHAMA GO GREEN 10Action」と連動し、日常生活で実践できる脱炭素行動を紹介するとともに、脱炭素に係る取組宣言キャンペーンなどを通じて、取組のきっかけづくりを進めます。

・実施イベント：三ツ池公園フェスティバル（5/17）、つるみ・ちゅらうみサマースクール 2026（8/8、9）、つるみ臨海フェスティバル等（予定）





イベントでの実施の様子

3 区庁舎の緑化推進

区制 100 周年及び横浜グリーンエキスポに係る機運醸成のため、区庁舎の緑化を推進します。

【関連する自主企画事業】

<つるみクリーンタウン事業>

2 鶴見区クリーンアップ事業

地域清掃の支援、不法投棄防止に向けた啓発を実施します。

(2) まちかど花壇事業

不法投棄防止を目的に実施してきた地域の花壇整備支援を継続し、横浜グリーンエキスポの機運醸成につなげます。

実 施：春・秋（年2回）



東寺尾北部町内会
（二本木第二公園）



日本郵便株式会社 鶴見郵便局
（局前花壇）

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】

GREEN×EXPO 推進事業（脱炭素・GREEN×EXPO 推進局）



つるみ・ちゅうらうみ サマースクール 2026

横浜グリーンエキスポ開催に伴い、区民まつりをはじめ、多くの人が集まるイベントやスポットでの PR 等を実施し、認知度向上や機運醸成に取り組みます。



臨海フェスティバル（2025 年度の様子）

【再配当事業】

地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業（みどり環境局）

ガーデンネックレス横浜 2026 開催に伴い、鶴見区のみどりに親しむイベント等を実施し、まちの魅力向上やにぎわい創出に取り組みます。

事業番号 15 地域文化・区民活動推進事業		予 算 額
		R 8 (2,953 千円)
		R 7 (2,903 千円)
		差引 (50 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 8 暮らし・コミュニティ 施策群 17 学び・交流を支える地域の情報拠点	

区民に様々な文化活動の発表の場と、文化・芸術の鑑賞の機会を提供し、文化活動への関心を高め、地域文化の振興を図ります。

また、区民の地域での活動を促進するため、活動を始めるきっかけとなる講座や担い手を育成する事業を実施します。

1 地域文化推進事業

鶴見区民文化祭への補助金交付や地域の文化団体との連携を通じて、区民の文化活動を発表する場と文化・芸術に触れられる機会をつくります。また、地域の子ども達や外国人が伝統文化に触れ合える機会を創出します。

(1) 開催年月日：令和 8 年 9 月 7 日（月）～ 8 年 12 月 6 日（日）

(2) 主催団体：鶴見区文化協会

(3) 実施事業数（予定）：14

(4) 入場者数（目標）：5,000 人

2 つるみ区民活動センター事業

(1) 相談・コーディネート・機材貸出

(2) 情報提供・ボランティア登録

ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」の発行

イ 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録

(3) 講座・イベントの実施

ア 生涯学習・社会教育推進講座「つるみ MACHI 塾」
(令和 7 年度より「鶴見・まちづくりゼミナール」と連携開催)

イ 生涯学習ボランティア、登録団体紹介展「つるみ区民活動センターまつり」ほか

(4) 区民利用施設間の連携強化

各施設間の連携を深めるために意見交換を開催しながら、区民へ施設の取組を周知し、各施設の利用率向上につなげる連携事業を実施します。

3 読書活動推進事業

「第三次鶴見区読書活動推進目標」（令和 7 年 10 月策定）を踏まえ、区民の読書活動の更なる推進のため、読書講演会や各連絡会等を開催します。

(1) つるみ読書講演会（12 月頃）

作家、各分野の専門家等を講師に招聘し、講演会を開催します。

(2) 各種連絡会の開催（各、年 1 回程度）

関係者との意見交換・情報共有を実施します。

ア 読書関連施設連絡会

構成 図書コーナーを持つ区民利用施設（地区センター（6 施設）、コミハ（7 施設）等）

イ 鶴見区の読書活動を広める連絡会
 構成 読書関連活動団体（３）、大学（２）、小中学校（４）、区社協、国際交流
 ラウンジ、その他関係機関

４ 一時託児推進事業

３年に１度開催している、保育協力者養成講座を実施します。

実施：１０月２９日（木）、１１月４日（水）・９日（月）・１８日（水）・２７日（金）
 〈全５回〉

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】

横浜市民の読書活動推進事業（教育委員
 会事務局）

「第三次横浜市民読書活動推進計画」に
 基づき、読書活動の推進に向けて、全市
 的な普及啓発イベントや区の地域性に
 応じた取組を推進します。

事業番号 16 区民スポーツ振興事業	予 算 額
	R 8 (650 千円)
	R 7 (650 千円) 差引 (0 千円)

横浜市中期計画 2026-2029	政策群 10 にぎわい・スポーツ・文化 施策群 22 スポーツ
----------------------	------------------------------------

区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、区民スポーツ大会やスポーツ教室等を実施するほか、トップスポーツチームと連携した企画を実施することで、区民がスポーツに触れる機会を更に創出します。

1 鶴見区スポーツ協会支援事業

各種区民スポーツ大会・教室の開催を支援し、スポーツの普及・振興を進めます。

2 トップスポーツチーム連携事業【拡充】

トップスポーツチームと地域の交流支援や、区民向けスポーツ観戦企画の実施により、区民がスポーツに慣れ親しむ環境を創出します。

種目	チーム名	連携内容
サッカー	横浜 FC	地域交流：5月16日（土） 観戦企画：12月5日（土）
サッカー	横浜 F・マリノス	地域交流：6月28日（土） 観戦企画：11月29日（日）
バスケットボール	横浜エクセレンス	地域交流：10月17日（土） 観戦企画：2月26日（金）～ 2月27日（土）
バスケットボール	横浜ビー・コルセアーズ	地域交流：10月17日（土） 観戦企画：3月31日（水）
ラグビー	横浜キヤノンイーグルス	地域交流：10月17日（土） 観戦企画：開催調整中



区民向けサッカー観戦企画

(横浜 FC)



小学校ラグビー教室

(横浜キヤノンイーグルス)

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】 トップスポーツチーム連携事業（にぎわいスポーツ文化局）	区がスポーツチームと連携実施する事業において、予算再配当（1事業あたり上限8万円）を実施。
--	---

施策3 子どもから大人まで安心・元気に

事業番号 17 ヘルスアッププラン		予 算 額 R 8 (2,624 千円) R 7 (2,835 千円) 差引 (△211 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 6 高齢・長寿 施策群 90 その他	
市民の健康づくりの指針である「健康横浜 21」の基本目標である、健康寿命の延伸を実現するため、区民の生活習慣の改善・意識や行動の変化に資する講座や啓発等を実施し、区民の平均自立期間（日常生活に介護を要しない期間の平均）を延ばします。 1 働き子育て世代への健康啓発 (1) 生活習慣病、がん検診や特定健診、女性の健康についての普及啓発 区内施設や保健活動推進員と連携し、主に働き子育て世代が参加する各種イベントや SNS、区民利用施設等で動画やチラシ、ポスター等の媒体を活用し、生活習慣病や健診・がん検診、女性の健康についての啓発を行います。 啓発イベント：ウォーキングイベント、学校保健会、パネル展、つるみ臨海フェスティバル等 啓発施設：区民利用施設、町内会館、区内商業施設等 (2) 運動普及啓発 区民が運動を始めるきっかけを作るため、令和 7 年度新たに作成のウォーキングマップを活用し、民間企業、関係団体と連携した参加型イベントを開催します。また、ウォーキングマップは地域団体の協力を得ながらエリアを拡大し、より多くの方が楽しめる内容に充実させます。  つるみ見どころ発見ウォークラリー2026  鶴見ウォーキングマップ  2 ComeCome（囓む囓む）元気大作戦！（歯科保健事業） (1) 親子わくわく歯っぴい・食育講座 歯が生え始めた児とその保護者を対象にむし歯予防や歯磨き方法と幼児期からの適切な食習慣についての講座（個別相談を含む）を実施します。また、保護者を対象に歯周病やオーラルフレイルについて啓発を行います。 ※歯科保健事業と食育事業の合同実施		

実 施：年 12 回
会 場：区役所
参加者：各回 16 組
対象者：1 歳 2 か月未満の乳幼児と保護者

(2) 歯周病・オーラルフレイル予防等啓発

6 月の「歯と口の健康週間」や 10 月の「健康づくり月間」、両親教室（月 1 回）、乳幼児健診の機会に歯周病やオーラルフレイル予防の啓発を行います。



4 か月児健診における歯周病予防啓発

< 歯と口の健康週間 >

実 施：6 月 7 日（日）
会 場：区役所
参加者：257 人

3 食育事業

バランスよく食べる等の食生活に関する知識・情報の普及啓発のほか、将来を見据えた健康づくりを推進するため、食行動の発達段階に合わせた講座等を実施します。

(1) 食育啓発

10 月の「健康づくり月間」や乳幼児健診等の機会に食育に関する啓発を行います。

(2) 離乳食教室

幼児期からの適切な食習慣の定着、基礎づくりを目指した講座を行います。

実 施：年 24 回 ※うち 12 回は再配当（局予算）

参加者：各回 20 組

対象者：7 ～ 9 か月児と保護者

(3) 食育ミニ講座

3 歳児健診会場で、子どもや保護者が食について学ぶミニ講座をボランティアが実施します。

実 施：年 36 回

参加者：延 2,200 組

対象者：3 歳児と保護者

事業番号 18 感染症対策事業		予 算 額
		R 8 (481 千円)
		R 7 (703 千円)
		差引 (△222 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 6 高齢・長寿 施策群 90 その他	
区内施設や区民が、適切に感染症の予防や感染拡大防止に取り組めるよう、感染管理認定看護師等の専門家と連携してより実践に近い内容の研修及び啓発を行います。 また、新興感染症等発生に備え、区職員を対象とした研修や他機関との連携強化を図ります。 1 区内施設向け啓発 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の知識や発生時の対応方法について、感染症対策指導者養成研修開催案内に併せて保育所、幼稚園、高齢者・障害者施設などの関連施設に情報提供します（8月）。 2 感染症対策指導者養成研修 新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等の患者発生時の初期対応を中心に、施設の施設管理者や従事者を対象に、感染管理認定看護師等と連携し、実技を中心としたより実践に近い内容の研修を行い、対策強化につなげます。 実 施：7月、11月（2回） 参加者：延 80 人 ＜感染症基礎講座＞ 実 施：7月28日（火） 参加者：63 人 3 区職員向け研修・訓練 新型インフルエンザ等の新興感染症・輸入感染症の発生に備え、職員が適切に対応できるよう研修と訓練を実施します。 実 施：12月頃 会 場：区役所		

事業番号 19 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業		予 算 額 R 8 (1,245 千円) R 7 (1,245 千円) 差引 (0 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 7 障害児・者 施策群 15 障害児・者の支援	
障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めます。 1 鶴見区地域自立支援協議会の推進 障害児・者が地域で生活していくことを支援する関係機関等が情報・課題を共有し、連携して課題に取り組むとともに、協議会を活用して、関係機関職員等の質の向上に資するための研修を実施します。また、障害児者のための地域生活ガイドブック「つるみでくらす」を改訂し、障害当事者やご家族に配布し、社会参加の促進や自己決定に必要な情報提供を図ります。 ＜構成員＞ 基幹相談支援センター、地域活動ホーム、精神障害者生活支援センター、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、支援学校、地域ケアプラザ等 (1) 会議 ・代表者会議：年 1 回 ・担当者会議：年 4 回 ・専門部会 3 部会（相談・権利擁護・精神保健福祉）：隔月 (2) 研修 関係機関職員等の知識・技術の向上やネットワークの構築を図り、業務やケース支援等に生かしていくための研修を実施します。 実 施：年 6 回 ※ 7 年度実施内容：「障害者虐待防止について」「意思決定支援について」等 (3) 障害児者のための地域生活ガイドブック「つるみでくらす」の改訂 就労や日中活動の場にかかる最新情報を障害当事者やご家族にお渡しすることで自己決定の参考にしていただき、暮らしやすさにつなげます。 完成予定：令和 9 年 2 月（併せて区ホームページの掲載内容を更新） 発行部数：2,000 部 掲載予定事業所：130 事業所		

2 障害理解の推進

地域のイベントへの参加や地域防災拠点訓練等での啓発、障害者週間に合わせたキャンペーン等を行い、区民の障害理解の促進を図ります。また、区制 100 周年記念のロゴを活用し、自主製品販売の支援を行います。

(1) 地域のイベントへの参加

スポーツ推進委員連絡協議会主催のボッチャ大会参加を通じた地域との交流を図ります。

実 施：6 月

会 場：鶴見スポーツセンター

(2) 地域防災拠点訓練等での啓発

(再掲) 56 ページ

(3) 各種キャンペーンの実施

ア 福祉施設等の自主製品（鶴っこ製品）販売支援

区役所 1 階ロビー、商業施設、大学等での自主製品販売支援を行います。

イ 障害者週間

施設等紹介パネルの展示や福祉施設の自主製品の販売、広報よこはま掲載等、啓発活動を行います。

※7 年度はCIAL鶴見にてボッチャ体験会を実施

実施：12 月（障害者週間に合わせて実施）

会場：区役所 1 階区民ホール

3 専門職のスキルアップ研修の実施

社会福祉や保健師等の専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を向上させるための研修を実施します。

実 施：年 7 回

※7 年度実施内容：「効果的な面接技法について」「発達障害について」等

4 障害児支援者ネットワーク推進事業

障害児支援に向けて、より効果的に切れ目なく安心した生活を送るために、支援計画管理ファイル（ちびわっくんファイル）を作成し、当事者の支援に関わるすべての関係者が保護者同意のもとで支援目標を共有する仕組みに継続して取り組みます。

対象者数：新規障害児通所支援事業利用者 450 人

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】

自殺対策事業（健康福祉局）

横浜市自殺対策計画に基づき、「誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指し、「ゲートキーパー」の育成や普及啓発の推進に取り組めます。

- ・区職員等向けゲートキーパー研修の実施
- ・自殺対策強化月間（9月、3月）において啓発動画放映
- ・鶴見図書館での普及啓発パネル展示（9月）
- ・相談支援機関等の職員を対象とした自殺に関する研修の実施

事業番号 20 鶴見区高齢者はつつ生活応援事業		予 算 額 R 8 (649 千円) R 7 (569 千円) 差引 (80 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 6 高齢・長寿 施策群 14 高齢者支援	
高齢者が自分らしく過ごせる環境を整え、いつまでも生き生きとした生活ができるよう、認知症に関する啓発事業を行います。また、人生の最終段階に向けた準備をしている人の増加に向けて、エンディングノートの普及・啓発を推進します。 1 認知症普及啓発事業 (1) 認知症サポーター活動支援 認知症サポーター養成講座を受講したことがある方を対象に、活動時に活用できる共通の支援グッズ（オリジナルネックストラップ）を作成・配付します。日々の活動の活性化につなげるとともに、区民の認知症への理解をさらに深めます。 作 成：8～9月 数 量：1,000 個 (2) 区内認知症カフェ紹介冊子の増刷 令和7年度に作成した区内の認知症カフェを紹介する冊子を増刷し、また、区ウェブページに引き続き掲載していくことで、広く区民に周知し参加や支援につなげます。 作 成：8～9月 部 数：2,000 部 2 エンディングノート普及・啓発事業 令和7年度に作成したエンディングノート普及啓発動画の上映場所を区役所以外にも拡大し、幅広い世代の方がこれからのライフプランを前向きに考える機会の創出をさらに進めます。 期 間：(区役所) 通年、(外部上映先) 11 月 上映場所：バスサイネージ、鉄道系・商業系サイネージ		
■■ 関連する事業 ■■ 【再配当事業】 認知症施策の推進（健康福祉局） より多くの人が認知症を我が事と捉え、周囲や地域の理解と協力の下、認知症の人が希望を持って前を向き、力を生かしていくことで、住み慣れた地域の中で尊厳を保ちながら自分らしく暮らし続けることができる社会を目指します。 ・ 認知症に関する普及啓発 (認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイトの育成等) ・ チームオレンジ事業 ・ 認知症高齢者等 SOS ネットワーク ・ 認知症初期集中支援チーム		

【再配当事業】 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局）	介護予防は、要介護状態となることの予防や要介護状態の軽減・悪化の防止を目的とする取組です。高齢者の心身の機能の改善のみならず、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を支援して、生活の質の向上を目指します。 ・介護予防普及啓発事業（フレイル予防、口腔機能向上、ロコモ予防） ・元気づくりステーション事業 ・地域リハビリテーション活動支援事業
【再配当事業】 地域包括ケアの推進（健康福祉局）	「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区アクションプラン」に基づき、鶴見区の地域包括ケアシステムを推進します。
【再配当事業】 市民の意思決定支援事業（エンディングノート等普及啓発）（健康福祉局）	市民一人ひとりが自らの意思で生き方を選択し、人生の最期まで自分らしく生きることができるよう、エンディングノートの配布や書き方講座等を開催し、高齢者等に必要な情報を提供します。
【再配当事業】 ヨコハマあんしん登録（情報登録事業）（健康福祉局）	登録を希望される 65 歳以上の市民の方が緊急連絡先やエンディングノートの保管場所等の情報を事前に市に登録することができる仕組みとして、ヨコハマあんしん登録（情報登録事業）を実施します。 事前に登録された方が、病気や事故、認知症等で意思表示が難しくなった時、または亡くなった時に、医療機関、警察、消防等からの照会に対し登録された内容を区が回答し、可能な限りご本人の意思を尊重した支援につなげていきます。

事業番号 21		予 算 額		
つるみ DE 子育て応援事業		R 8 (3,230 千円)		
		R 7 (4,518 千円)		
		差引 (△1,288 千円)		
横浜市中期計画 2026-2029	政策群4 こども・子育て 施策群6 子育て支援			
妊娠中から継続した関わりで、家庭・地域の育児力をアップし、地域の子育て支援の充実と、安心して子育てができる環境を整えます。 1 地域育児教室（赤ちゃん会） 原則第1子の0歳児と保護者を対象に月1回程度開催します。 実 施：1会場あたり10回程度（年200回程度） 会 場：地区センター、地域ケアプラザ等19か所 2 親子の居場所普及事業 親子が気軽に立ち寄れる、親子の居場所「ふらっとる一む」の運営を支援し、のぼり旗等を配布します。 実 施：47か所 3 学校・地域連携促進事業 学校と地域の連携を促進する活動に対して区長の感謝状を贈呈します。併せて、感謝状と共に区制100周年及び横浜グリーンエクスポに関する記念品を贈呈し、機運を醸成します。 4 子育て情報普及啓発事業 鶴見区内の情報を集約した子育て情報誌「つるみ区子育て応援ガイドブック」を冊子及びWebページで発信するほか、子育てに関する情報をきめ細やかに提供します。 部 数：6,000部 発 行：8月末 5 放課後児童健全育成事業 放課後児童の居場所をより安全、安心、居心地の良い場所にするため、放課後児童健全育成事業に従事している職員に対し研修を行うことで、知識の習得及び意識の向上を図ります。 ＜昨年度テーマ＞ 「配慮が必要なお子さんの理解と対応」、「遊びや製作活動、表現活動」等 ■■ 関連する事業 ■■ <table><tr><td>【局事業】 乳幼児一時預かり事業（こども青少年局）</td><td>養育者のリフレッシュを主な目的に乳幼児を預かります。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。</td></tr></table>			【局事業】 乳幼児一時預かり事業（こども青少年局）	養育者のリフレッシュを主な目的に乳幼児を預かります。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。
【局事業】 乳幼児一時預かり事業（こども青少年局）	養育者のリフレッシュを主な目的に乳幼児を預かります。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。			

【局事業】 親と子のつどいの広場 （こども青少年局）	育児にかかわる心身の負担軽減等を図るため、親子の交流や集いの場の提供、情報提供、一時預かりを行う事業です。区内には「はなはなひろば」「キッチュ」「こまーま」「Coron」「Lico」があります。
【局事業】 産前産後ヘルパー派遣事業 （こども青少年局）	妊娠期または産褥期（5か月未満）にあって、日中に家事育児の支援を受けられない方にヘルパーを派遣し、育児不安や心身の不調による家事育児負担の軽減を図ります。
【再配当事業】 地域子育て支援拠点事業 （こども青少年局）	未就学児の親子を対象に、遊びや交流スペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う拠点として「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」を設置しています。
【再配当事業】 横浜子育てサポートシステム （こども青少年局）	子どもを預かってほしい人と預かれる人が会員登録をして預かりなどの子育てニーズに対応する事業です。鶴見区では子育て支援拠点「わっくんひろば」が事務局を担っています。

事業番号 22 つるみの未来を育てる保育所事業【重点】		予 算 額 R 8 (4,094 千円) R 7 (3,949 千円) 差引 (145 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 4 こども・子育て 施策群 7 保育・幼児教育	
区内保育施設等職員及び民間保育園施設長に向けた多文化理解を図るための研修や、市立保育所による多文化共生の取組を実施するとともに、園庭開放など市立保育所資源を活用した子育て支援を実施します。 また、引き続き、保育・教育コンシェルジュによる個別相談を実施するとともに、外国籍子育て世帯に向けた保育所等一覧・マップの多言語版の作成など、きめ細やかな入所支援を行います。 1 保育所多文化共生事業【拡充】【再掲】 (1) 保育・教育施設等の職員向け研修の実施 市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修を実施し、保育施設等職員や園児の外国文化の理解へ繋がります。 (2) 区制 100 周年に向けた多文化共生の取組【新規】 市立保育所を中心に、多言語文化に触れられる本や遊び等を充実させ、多文化共生の取組を実施します。 あわせて区制 100 周年のロゴを活用したトートバックを作成し、地域や子どもたちへの本の貸出に活用して機運醸成に寄与します。 (3) 保育・教育施設等の施設長向けの研修の実施 入所手続や入園後の生活をより円滑にしていくことを目的に、民間保育園施設長向けの研修を実施します。(年 3 回程度)  保育・教育施設等の職員向け研修 「異文化理解コミュニケーションゲーム」  保育・教育施設等の施設長向け研修 外国につながる園児、保護者受入れ時の課題例や解決のポイントを共有 2 保育所資源活用事業 (1) 市立保育所園庭開放 市立保育所の園庭を地域の親子に開放します。また有償ボランティアを配置し、育児相談等に対応することで市立保育所を活用した育児支援を充実します。 会 場：市立保育所 4 園 対象者：地域の子育て中の親子		

(2) 図書を活用した地域子育て支援事業

市立保育所を会場にして、子育て中の親子向けに絵本の読み聞かせなどのイベントを行うことや、絵本等の貸出を行うことで育児支援や読書の機会の増大に繋がります。

会 場：市立保育所 4 園

対象者：地域の子育て中の親子

3 保育所入所支援事業

認可保育所、地域型保育事業、認定こども園の定員、保育時間等及びその位置を周知するため、鶴見区の保育所等一覧・マップを発行し、市HPにも掲載します。

また、外国につながる保護者向けに保育所等マップの多言語版の作成・配布や、保育園入所に関する手続きの説明を行います。

＜保育所一覧等の発行＞

実 施：10 月（4 月入所申込開始時）、3 月（新年度）2 回に分けて発行

部 数：18,000 部

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】 市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業（こども青少年局）	市立保育所を中心に認可保育所や横浜保育室などの保育資源とともに地域子育て支援イベントや交流会を実施します。また、保育の質向上研修を行います。
【局事業】 乳幼児期からの英語体験推進事業（こども青少年局）	乳幼児期からの英語体験の充実を目指し、コミュニケーション活動を通して英語に触れられるよう、ネイティブの講師によるプレイフルラーニング（遊びを通して英語や文化に触れる活動）をモデル実施します。
【局事業】 幼保小教育交流事業（こども青少年局）	全 18 区に実行委員会を組織し、幼保小の子ども同士の交流活動、職員研修や保護者を交えた講演会等の事業を実施しています。

事業番号 23 鶴見区虐待予防事業		予 算 額
		R 8 (2,959 千円)
		R 7 (2,659 千円)
		差引 (300 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群4 こども・子育て 施策群9 困難な状況にあるこども・家庭への支援	
子育てに関する負担を軽減し、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）の予防を目指します。 1 親支援講座 専門家を招いて、子どもとのコミュニケーション学習を目的とした支援者向け研修会を開催します。 ・支援者向け研修会 実 施：10月7日（水）予定 対 象：育児支援関係施設職員等 内 容：「父親支援のはじめかた」 2 専門家相談 子育て中の親の不安を軽減するため、専門家による相談を行います。 ・臨床心理士 精神科医師 弁護士 児童虐待学識経験者等 （82回） 3 包括的性教育講座 中学校3年生を対象とした講座を行います。また、思春期の教育に関わる生徒指導専任教諭・養護教諭等を対象に研修会を実施します。 ・中学校3年生対象 性感染症 妊娠から出産 赤ちゃんを育てること ・保護者、生徒指導専任教諭、養護教諭等支援者対象 思春期に関する研修会 実 施：令和9年1月20日（水）予定 4 虐待緊急対応 児童虐待予防啓発・相談・緊急対応を行います。 ・緊急性の高い虐待通報の迅速な対応（相談・連絡・訪問等） ・東部児童相談所開所に伴う相談先情報の提供等		
■■ 関連する事業 ■■		
【再配当事業】 児童虐待予防啓発地域連携事業（こども青少年局）		児童虐待防止の地域への啓発を行うと共に、関係機関への研修や職員を対象にした専門研修を行い、虐待対応のスキルアップを図ります。
【再配当事業】 思春期保健指導事業（こども青少年局）		思春期の男女及びその保護者を対象に個別相談・講演会などを実施します。

【局事業】 産後母子ケア事業（こども青少年局）	助産所等が、デイケア及びショートステイを行い ①お母さんのケア ②赤ちゃんのケア ③その他指導相談等を行う、養育支援を目的にした事業です。市内 15 か所の助産所等で実施します。
【局事業】 訪問型母子ケア事業（こども青少年局）	産後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的に助産師が訪問し、母体及び乳児のケア、今後の育児に関する指導等を行います。

事業番号 24 生活衛生サポート事業		予 算 額
		R 8 (724 千円)
		R 7 (733 千円)
		差引 (△9 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群3 医療・保健 施策群5 医療・救急・保健	

食品・環境衛生に関する最新の情報提供・啓発や、犬猫の適正飼育啓発やねずみ駆除の支援などを行い、区民が安全・安心に快適な生活が送れるようサポートします。

1 食品衛生関係事業

高齢者施設、病院など重点対象施設への立入指導による食中毒の発生防止や、食品提供を行うボランティアなどへの助言や啓発による活動支援を行います。

2 環境衛生関係事業

ねずみ及び衛生害虫などによる健康被害防止啓発や、駆除相談、駆除機材の貸出などを行います。

3 人と動物の共生推進事業

(1) 犬猫の適正飼育および災害時のペット対策の啓発

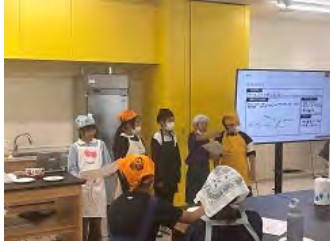
ア ペットと暮らす方に向けた適正飼育の啓発

イ 災害時のペット対策の啓発

(再掲) 57 ページ

(2) 飼い主のいない猫対策事業

超音波式ねこ被害軽減機の貸し出しや、地域が取り組む飼い主のいない猫対策への支援を行います。

事業番号 25 青少年健全育成事業		予 算 額 R 8 (1,670 千円) R 7 (1,280 千円) 差引 (390 千円)
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 4 こども・子育て 施策群 90 その他	
青少年の健全育成を図る団体を支援し、健全育成を推進します。また、地域社会において青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、地域の輪を広げる取組を実施します。 1 青少年交流活動推進事業 (1) 鶴見区子どもサマーキャンプ事業 小学生の自然体験活動の機会の充実と異年齢交流の促進のため、主催の鶴見区子ども育成会連絡協議会に対し補助金を交付します。また、本事業を通じて、中高生からなる鶴見区ジュニアリーダーズクラブの育成を支援します。 実 施：7月31日（金）～8月1日（土） 参加人数：40人 (2) 青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校及び区内企業と連携し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と中・高校生との異年齢間交流により、ともに育ち合う機会を創ります。 実 施：8月6日（木） 連携企業：森永製菓株式会社 参加人数：20人 (3) 区内企業との公民連携による青少年育成 区内各企業及び学校との公民連携により、工場見学、ものづくりに関する教室を開催することで、青少年が様々な社会体験をする機会を提供し、社会全体で子どもの成長を支えること、子どもの内在する力を引き出すことにつなげます。 ア 鶴見区・神奈川区の工場で『モノづくり』を親子で学ぼう！ 実施：7月24日（金） 連携企業：日産自動車株式会社横浜工場、キリンビール株式会社横浜工場 参加人数：27人 イ 鶴見の企業と学ぼうモノづくりの仕組み 実施：4月～12月 連携企業：森永製菓株式会社 参加人数：34人（予定）  日産自動車株式会社横浜工場の見学  森永製菓株式会社でのモノづくり教室		

ウ 横浜市鶴見区特化型ポータルサイトとの連携

実施：通年

連携団体：日日是つるみ編集部

エ 鶴見区合同学習発表会（令和7年度開始）

子どもたちが地域や企業と連携して身近な課題や体験を通じて学びを深め、その成果を共有する機会を創出します。

実施：2月

オ 企業の出張授業と工場見学の手引きの作成・活用

実施：通年

2 青少年の居場所運営支援事業【拡充】

地域・団体等による青少年の居場所運営の取組に対し、補助金を交付します。開設頻度や場所の拡充を図り、身近な場所での居場所の充実を目指します。

対 象：7事業程度



地区センターでの青少年の居場所運営

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】 よこはま東部ユースプラザの運営補助 (こども青少年局)	地域において不登校やひきこもり状態などにある青少年（15歳～39歳）の自立を支援する「地域ユースプラザ」の運営費を補助します。
【局事業】 ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談（こども青少年局）	青少年相談センター所管の補助事業として、鶴見区では東部ユースプラザの地域連携相談員が、毎月2回（第2・第4の水曜日午後）、区役所で相談支援を行います。支援対象者は横浜市在住で、ひきこもり等の困難を抱える若者15歳から39歳の方とその家族です。
【再配当事業】 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局）	◇つるみ元気塾 生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対して、自信・達成感・肯定感をもたせ、円滑な学校生活を送るための支援・生活体験・総合的な支援を行う支援施設「つるみ元気塾」を運営し、必要な支援等を行います。

【再配当事業】 寄り添い型学習支援事業（健康福祉局）	◇つるみ未来塾（中学生対象） 生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある子どもたちの将来の自立に向けた基盤づくりのため、中学１～３年生を対象に高等学校等への進学に向けた学習支援を行います。 ◇つるみプラス（高校生世代対象） 生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業を行います。また、高校生世代（概ね１５歳から１８歳）の子どもを対象に、社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業を行います。
--	---

事業番号 26 つるみクリーンタウン事業		予 算 額 R 8 (4,497 千円) R 7 (4,497 千円) 差引 (0 千円)		
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 13 環境との共生 施策群 30 循環型社会に向けた取組			
3 R 活動、特にプラスチック対策や食品ロス削減等を通じて脱炭素社会を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に実施します。 1 3 R 推進事業 分別ルールやプラスチック対策、食品ロス削減について普及、啓発を進めます。 (1) 区民向けイベントでの 3 R 啓発 ア 三ツ池公園フェスティバル (5 月 16 日(土)) イ つるみ臨海フェスティバル (10 月 17 日(土)) ほか (2) 食品ロス削減に向けた普及啓発活動 区役所常設の食品回収箱をはじめ、フードドライブ活動を実施・支援します。 (3) 保育園等での環境学習 子どもたちの意識を高めるため、保育園・小学校を対象に出前講座を行います。 (4) 生ごみ堆肥化の普及啓発 生ごみを活用した土づくり (土壌混合法) の普及に向けて、公共施設等での講習会を行います。 (5) 外国人居住者への啓発 (再掲) 70 ページ 2 鶴見区クリーンアップ事業 地域清掃の支援、不法投棄防止に向けた啓発を実施します。 (1) 鶴見クリーンキャンペーン 地域の各団体へごみ袋や軍手を配布し、清掃活動を支援します。 実施回数：年 2 回 (2) まちかど花壇事業 (再掲) 77 ページ (3) 喫煙マナー啓発 ポイ捨て防止や喫煙マナーの向上のため、喫煙禁止区域を中心にマナー啓発を行います。 3 道路ふれあい月間関連事業 事業者との協働による一斉清掃やイベント等への出展を実施し、道路の重要性を再認識してもらい、道路の正しい利用の啓発を図ります。 実 施：10 月 ■■ 関連する事業 ■■ <table><tr><td> 【局事業】 不法投棄防止対策事業 (資源循環局) </td><td>不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行います。</td></tr></table>			【局事業】 不法投棄防止対策事業 (資源循環局)	不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行います。
【局事業】 不法投棄防止対策事業 (資源循環局)	不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行います。			

施策実現に向けた行政運営

事業番号 27 鶴見区広報・広聴事業	予 算 額 R 8 (3,859 千円) R 7 (3,140 千円) 差引 (719 千円)
あらゆる年代や国籍等の区民に対し、必要な情報が的確に届くよう各種媒体を活用し、多角的な広報事業を展開します。 また、区民ニーズや地域の課題を把握し、区政運営に反映させることを目的に、広聴事業を展開します。 1 広報・広聴事業 (1) 区ウェブサイト等その他広報事業 ・多言語対応の広報誌閲覧サービスアプリによる発信 ・SNS、区ウェブサイトによる区政情報の発信 ・鶴見区のマスコットキャラクター『ワックン』の活用による区のPR (2) 広聴事業 「市民の声」事業に基づき、区民や地域の意見を収集します。 広聴受付件数〔令和8年7月末時点：312件〕 2 生活・防災マップ等発行事業 (1) つるみ生活・防災マップ 発行：12月 部数：14,000部 (2) 鶴見区バスマップ 発行：3月 部数：9,000部 3 鶴見区シティプロモーション推進事業 区内各課の情報発信を充実させるための、「鶴見区シティプロモーション力向上に関する取組」に基づき、広報スキルを高める研修等を行い、すべての職員が住みたいまち・訪れたいまちとして鶴見をPRできることをめざします。 ≪ 8年度実績及び実施予定 ≫ ・「ゼロからはじめる広報」研修 実施：5月21日(木) 参加者：7人(研修動画視聴回数：72回) ・超初心者向け「写真の撮り方研修」(3区合同開催) 実施：8月5日(水) 参加者：42人 ・政策経営・国際戦略局連携・デザイン基礎研修 実施予定：11月(予定)	

事業番号 28 鶴見区人材育成推進事業		予 算 額 R 8 （ 1,466 千円） R 7 （ 1,165 千円） 差引 （ 301 千円）
横浜市中期計画 2026-2029	政策群 8 暮らし・コミュニティ 施策群 18 多文化共生	
全職員が鶴見区に対する愛着を持ち“チーム鶴見”の一員としてより一層意欲・能力を発揮できるよう人材育成に取り組むとともに、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識しうよう人権啓発に取り組みます。 1 人材育成推進 人材育成や人権啓発、職員企画・提案型など様々な研修を通して、職員として必要なスキルの習得や意識改革を進めます。 （1）人権啓発研修（責任職グループ研修、職員向け研修） 6月～ （2）職員企画・提案型研修 7月～ （3）改革推進委員会 7月～ 2 人権啓発 区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催します。 実 施：12月 会 場：鶴見区民文化センターサルビアホール 別途、動画撮影しオンライン配信も実施します。		

事業番号 29 区役所サービス向上事業	予 算 額
	R 8 (12,776 千円)
	R 7 (13,352 千円)
	差引 (△576 千円)
区民の多様なニーズに的確に対応できるよう、区役所環境の整備を図り、区民が利用しやすい区役所の実現を目指します。 1 区役所サービス向上事業 区役所窓口や事務スペース及び庁舎周辺の環境の整備・改善を図り、来庁者が利用しやすく、清潔かつ快適な区役所にします。 2 一時託児サービス 乳幼児を伴って区役所を利用される方の利便性を向上するため、区役所1階の託児施設（キッズランド）において、月・水・木曜日の8時50分から16時10分（12時から13時までを除く）までの必要な時間、乳幼児を預かります。 3 ICTの活用促進 オンライン会議システムやサーバーの維持・管理、庁内のペーパーレス化などICT環境の整備・保全による区民サービスの向上や業務効率化を図ります。	

鶴見区に関連する主な局事業

① 鉄道利便性強化の検討

(道路・交通政策局)

区内の鉄道利便性を高めるため、相鉄・JR 直通線の鶴見駅停車や公共交通ネットワークの利便性・安全性向上等について、関係者・地域と共に中長期的に取り組めます。

② (仮称) 豊岡町複合施設再編整備事業

(教育委員会事務局)

豊岡小学校建替えを契機に、鶴見図書館、鶴見保育園等と複合化し再編整備していきます。令和 8 年度は、8 月の PFI 事業の落札者決定後、事業契約を締結し、設計に着手します。

③ 横浜市東部斎場の整備

(健康福祉局)

新たな斎場を大黒町に、令和 9 年 3 月中の開所を目指して整備していきます。

④ 末吉橋架替事業

(道路・交通政策局)

令和 10 年度の完成を目標に、引き続き架け替え工事を進めていきます。

⑤ 踏切の安全対策

(道路・交通政策局)

生見尾踏切など歩行者の安全な通行に課題のある踏切について、安全対策を進めていきます。

⑥ 小学校の建替え

(教育委員会事務局)

矢向小学校は建替えの工事を進めていきます。上末吉小学校は設計を進めていきます。

⑦ 緑地・公園等の整備

(みどり環境局、下水道河川局)

二ツ池公園は、獅子ヶ谷池側の広場の整備工事を進めています。東寺尾六丁目の古民家等は、歴史的建造物である古民家を生かした公園整備計画の検討を進めています。入江川遊水池の上部利用に向けた調査・検討を進めます。

⑧ 新たな地域交通の導入

(道路・交通政策局)

令和 7 年 8 月に実証運行を開始した、馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区「のるーと TSURUMI」は、令和 8 年 8 月から運行エリアの拡大を実施しました。また、岸谷地区では、令和 8 年度中の実証運行開始を目指して取組を進めています。

令和9年度 鶴見区予算編成の考え方について（案）

令和9年度の鶴見区予算では、「横浜市中期計画 2026～2029」の戦略である「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」のもと、「鶴見区制 100 周年」及び「横浜グリーンエクスポ」を契機に、地域・企業・団体がより一層連携し、鶴見区が将来にわたり誰もが“いつまでも住み続けたいまち”となることを目指して、3つの施策に取り組みます。

予算編成にあたっては、中期計画に掲げられた指標や各種データに加え、デジタルプラットフォーム等を活用しながら区民の皆さまの声をしっかりと把握し、創造・転換の視点を持って地域の活性化・課題解決に向けた取組を進めていきます。

< 3つの施策 >

1 安心・安全を実感しながら人と人がつながるまちづくり

風水害、地震及び都市災害等に備え、自助・共助の取組推進など、地域における防災力の向上を図るとともに、自治会町内会等の活動支援や、地域と連携した防犯・交通安全対策など、地域力強化に取り組み、誰もが安心・安全を実感しながら暮らせるまちづくりを進めます。

【中期計画の主な政策指標】

災害に強いまち
だと思いますか

45.6%

治安の良いまちだと思いますか

66.8%

2 誰もが自分らしく元気に暮らせるまちづくり

身近な地域における子育て支援や健康づくりなどの取組を一層充実させることで、あらゆる世代がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進します。また、多くの外国人が暮らすまちとして、国籍や文化の違いを尊重しながら、誰もが安心して生活できる多文化共生のまちづくりを進めます。

【中期計画の主な政策指標】

子育てしやすいまち
だと思いますか

57.0%

障害児・者にとって
暮らしやすいまちだと思いますか

30.9%

高齢者にとって
暮らしやすいまちだと思いますか

47.1%

3 魅力とにぎわいあふれるまちづくり

「鶴見区制 100 周年」及び「横浜グリーンエキスポ」を契機として、地域・企業・大学等様々な主体との連携を進め、商店街振興などによる地域経済の活性化を図るとともに、臨海部企業等による脱炭素の取組などの地域資源を生かした持続可能な魅力発信や賑わいを創出します。

【中期計画の主な政策指標】

観光やスポーツ・文化により、
にぎわい・活力のあるまち
だと思いますか

81.0%

以前より環境に配慮した行動を
するようになったと思いますか

71.6%

＜施策実現に向けた行政運営＞

人権や多様性を尊重し、区民目線とスピード感をもって、区民の皆さまに寄り添ったサービスを提供し、信頼される区役所づくりを進めます。

【中期計画の主な政策指標】

お住まいの地域は
暮らしやすいまちだと思いますか

79.0%



2027年は鶴見区制100周年

鶴見愛 未来もずっと このまちと